

2015年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2015

目 次

沿 革	2
美術館の事業紹介	3
2015(平成27)年度事業一覧	5
展示事業	
岩合光昭写真展 ネコライオン	7
魔法の美術館 -見て、触れて、遊ぶ 光のアート-	12
滝平二郎の世界展	14
峯田敏郎彫刻展「記念撮影-存在と気配そして空気-	20
食 ～自然からの恵み～	22
コレクション展	26
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	30
ミュージアムコンサート	34
美術館講座・美術講演	36
出前美術館・出前美術展	37
ネットワーク推進事業	40
“ふれんどリーギャラリー”を活用した学校による展示事業	42
セカンドスクールの利用	43
博物館実習	44
ボランティア活動	44
収集事業	
美術品収集	45
図書資料	47
美術品保存・修復	47
重要文化財等指定	47
燻 蒸	47
美術品貸し出し	48
調査・研究業績	49
刊行物	50
入館状況	51
組 織	52
建築・設備概要	53
関係法規	54
館内図	56
利用・交通案内	58

沿革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元)年	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4月 20日	開館
1997(平成 9)年	10月 2日	天皇・皇后両陛下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月 26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月	特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成

美術館の事業紹介

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4～6回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other research

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC（アムック）との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.

2015(平成27)年度事業一覧

月／	企 画 展	コレクション展	◆移動展 ◇アーティストトークほか
2015	2月7日(土)～4月19日(日) 企画展 日々の写生 画家たちの生きた時代	1月23日(金)～4月5日(日) アート・リポート・アキタ2014コレクション展 第4期 没後20年 桜庭藤二郎	
4			
5	4月25日(土)～7月5日(日) 特別展 岩合光昭写真展 ネコライオン	4月8日(水)～7月12日(日) 2015コレクション展 第1期 Where is a Flower? 花はどこにある	◇4/26(日)岩合光昭アーティストトーク&サイン会 ◇5/24(日)岩合光昭写真展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 八重樫葵アナウンサー、当館学芸主事 ◇6/ 6(土)岩合光昭写真展 スペシャルギャラリートーク ゲスト：秋田市大森山動物園 小松 守園長 聞き手：ABS秋田放送 椿田恵理子アナウンサー
6			
7			
8	7月11日(土)～9月13日(日) 特別展 魔法の美術館 ー見て、触れて、遊ぶ 光のアートー	7月15日(水)～10月4日(日) 2015コレクション展 第2期 所蔵品にみる中国	◆8/ 6(木)～8/16(日)出前美術展「近美洋画セレクション」 会場：能代エナジウムパーク ◆9/ 2(水)～9/ 7(月)出前美術館 ～ARTが学校にやってきた～ 会場：小坂町立小坂小学校・中学校 ◆9/10(木)～9/14(月)出前美術館 ～ARTが学校にやってきた～ 会場：上小阿仁村立上小阿仁小中学校 ◇9/19(土)滝平二郎の世界展 スペシャルギャラリートーク ゲスト：滝平 加根 氏 ◆9/28(月)～10/25(日) ネットワーク事業第1期「画家たちの残した記録」 会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
9			
10	9月19日(土)～11月23日(月・祝) 特別展 滝平二郎の世界展	10月7日(水)～1月11日(月・祝) 2015コレクション展 第3期 横手・湯沢の洋画家たち	
11			◇11/29(日)峯田敏郎彫刻展アーティストトーク ◆12/11(金)～1/31(日) ネットワーク事業第2期「秋田の工芸 その技と美」 会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
12	11月29日(日)～2月7日(日) 特別展 峯田敏郎彫刻展 「記念撮影ー存在と気配そして空気ー」		
	12/29(火)～31(木) 年末休館		
2016	同上	同上	
1			
	1/12(火)～21(木) メンテナンス休館		
	同上		
2	2月13日(土)～4月17日(日) 企画展 「食 ～自然からの恵み～」	1月22日(金)～4月10日(日) 2015コレクション展 第4期 高橋 功 永遠からの振動	
3			

※文中敬称略

◇秋田県立近代美術館名誉館長講座
5/23(土)江戸時代の美術・後期① 谷 文晁
講師：河野元昭
(秋田県立近代美術館名誉館長、東京大学名誉教授)

◇平成27年度あきたスマートカレッジ連携講座
明快！Artゼミ
① 7/ 3(金) 「滝平二郎 作品の魅力」
講師：奈良 香 (秋田県立近代美術館学芸主事)
② 8/ 7(金) 「所蔵作品にみる中国」
講師：鈴木 京 (秋田県立近代美術館学芸主事)
③ 9/11(金) 「彫刻家 峯田敏郎」
講師：保泉 充 (秋田県立近代美術館主任学芸主事)

◇先生のための美術館講座
10/25(日) 「滝平二郎 作品の魅力」
講師：奈良 香 (秋田県立近代美術館学芸主事)

★4/12(日)2015コレクション展 第1期「花はどこにある」ギャラリートーク①
②回目：6/ 7(日)

○5/ 3(日)岩合光昭写真展ワークショップ「大画面に描こう」
◎5/10(日)トリオ・ドルチェ コンサート
○5/17(日)岩合光昭写真展ワークショップ「フェルト毛玉マスコットを作ろう！」①
②回目：6/20(土)

●5/24(日)・30日(土)・31日(日)美術館教室「アクリル画教室 静物を描くⅡ」

●6/ 7(日)きつずあーと「どろどろアート」

●7/12(日)みんなの教室「スタンプはんがで楽しもう！」

◎7/19(日)横手マンドリンクラブ・ミュージアムコンサート

★7/26(日)2015コレクション展 第2期「所蔵品にみる中国」ギャラリートーク①
②回目：8/16(日)

●8/ 2(日)みんなの教室「木でつくろう！森の動物たち」
○8/ 9(日)魔法の美術館ワークショップ「光の箱をつくろう！」
★8/15(土)能代エナジウムパーク出前美術展ギャラリートーク
◎8/30(日)サクセス四重奏コンサート

●9/ 5(土)・6(日)美術館教室 型染め教室「ランチョンマットをつくろう」
★9/23(水・祝)滝平二郎の世界展ギャラリートーク①
②回目：10/17(土)
③回目：11/15(日)

◎10/ 4(日)太田徹&The Catwalk Bandコンサート

★10/ 4(日)ネットワーク事業第1期ギャラリートーク

★10/11(日)2015コレクション展 第3期「横手・湯沢の洋画家たち」ギャラリートーク①
②回目：11/ 1(日)

☆10/18(日)滝平二郎の世界展絵本朗読会①
②回目：11/ 7(土)

○11/ 1(日)滝平二郎の世界展ワークショップ「きりえワークショップ」

★12/ 5(土)峯田敏郎彫刻展ギャラリートーク①
②回目：1/10(日)

●12/ 6(日)みんなの教室「粘土でマスコットキャラクターをつくろう！」
◎12/20(日)秋田大学教員による声楽とピアノのコンサート

★1/16(土)ネットワーク事業第2期ギャラリートーク

★1/24(日)2015コレクション展 第4期「高橋 功 永遠からの振動」ギャラリートーク①
②回目：2/21(日)

★2/14(日)食 ～自然からの恵み～ギャラリートーク①
②回目：3/6(日)

◎2/14(日)第17回あきたロシア音楽祭 大山英子・土崎宏人デュオ・リサイタル

○3/ 5(土)食 ～自然からの恵み～ワークショップ「米粉 de パンケーキ」

展示事業

i. 特別展

岩合光昭写真展「ネコライオン」

会 期：2015(平成27)年4月25日(土)～7月5日(日) (72日間)
主 催：ネコライオン展実行委員会
(秋田県立近代美術館・ABS秋田放送)
協 賛：オリンパス株式会社
後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／
河北新報社／横手かまくらFM／
エフエムユーとびあ／秋田市大森山動物園
企画制作：クレヴィス
担 当：藤井正輝、樫尾康子

世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭が撮りためてきたネコとライオンの写真を紹介する展覧会を開催した。同じネコ科でありながら大きさも生活も異なる両者の、よく似たシチュエーションの写真同士を対比して観られるように全175点を配置し、ネコとライオンの共通点や違い等を通して互いの魅力を味わせる展示構成とした。会期中は21,000名を超える入場者で賑わった。500名以上の参加者を迎え大盛況に終わったアーティストトーク＆サイン会をはじめ、秋田市大森山動物園の小松守園長をゲストに迎え開催したスペシャルギャラリートーク、ワークショップ「大画面に描こう!」・「フェルト毛玉マスコットを作ろう!」、ミュージアムコンサート「トリオ・ドルチェ」等関連イベントも多くの方々に喜んでいただいた。また、当日券割引でお持ち頂いた写真をパネル掲示したネコライオン割写真、多くのフォロワーで賑わったネコライオンtwitterも大変好評だった。



第1展示室
「 視 」

No.	作品名	サイズ (mm)
1	[ネコ] 船が帰ってきたので注目しています。	1500 × 1000
2	[ライオン] 小高い丘から草食動物たちの群れを見下ろしています。	1500 × 1000
3	[ネコ] ネコのための小屋があります。	600 × 900
4	[ライオン] 家族の中心になるのが家長格のメスです。	600 × 900
5	[ネコ] まず母親が我が家へ向かって歩き出します。	600 × 900
6	[ライオン] 子は母親の一挙手一投足を注意深く見ています。	600 × 900
7	[ネコ] 母親は子の隠し場所をたびたび移します。	1000 × 1500
8	[ライオン] 子は母親にくわえられると全身の力を抜きます。	1000 × 1500
9	[ネコ] 兄弟は漁師に面倒をみてもらっています。	480 × 720
10	[ライオン] 兄弟は倒木の下で母親の帰りを待ちます。	480 × 720
11	[ネコ] 足場のアルミ窓が柔らかすぎて屋根から飛び降りようとして落ちます。	600 × 900
12	[ライオン] 木にも登るライオンですが降りるのは苦手です。	600 × 900
13	[ネコ] よそ見しながら余裕しゃくしゃくです。	600 × 900
14	[ライオン] 着地点を見定めて真剣です。	600 × 900
15	[ネコ] ジャンプ力が試されます。	480 × 720
16	[ネコ] ジャンプ力が試されます。	480 × 720
17	[ネコ] オスの睨み。	600 × 900
18	[ライオン] アフリカゾウの肉をむさぼりながら象牙の影でときどき休息します。	900 × 600

19	[ネコ]	まさに一触即発のとき。	1000 × 1500
20	[ライオン]	オスがオスの息の根を止めようとしています。	1000 × 1500
21	[ライオン]	襲う方も襲われる方も生きる努力を惜しみません。獲物はヌーです。	480 × 720
22	[ライオン]	襲う方も襲われる方も生きる努力を惜しみません。獲物はヌーです。	480 × 720
23	[ネコ]	ヒトの暮らしには扉というものが存在します。	600 × 900
24	[ライオン]	暮らしには隠れる場所も必要です。	900 × 600
25	[ネコ]	頭隠して尻隠さずではないですよ。	480 × 720
26	[ライオン]	狩りのために一応忍んでいます。	480 × 720
27	[ネコ]	お気に入りの場所があります。	600 × 900
28	[ライオン]	高いところからは平原が見渡せます。	600 × 900
29	[ネコ]	箱入り娘。	1000 × 1500
30	[ライオン]	平原を渡る風音を聞きながらの昼寝です。	1000 × 1500
31	[ネコ]	屋根裏へと続いています。	480 × 720
32	[ライオン]	平原の蟻塚も遊び場のひとつです。	480 × 720
33	[ネコ]	ストレッチして気になる玄関を覗きます。	360 × 540
34	[ライオン]	ストレッチ一発で活動開始。	360 × 540
35	[ネコ]	オスがオスを見つけてヒゲを下げます。	1200 × 1800
36	[ライオン]	狩りの基本は見ることです。	1200 × 1800
37	[ネコ]	我が家に向かっています。	480 × 720
38	[ネコ]	我が家に向かっています。	480 × 720
39	[ライオン]	姿勢を出来るだけ低くして獲物へとアプローチします。	600 × 900
40	[ネコ]	ちょっとそこまで、という感じかな。	480 × 720
41	[ネコ]	ちょっとそこまで、という感じかな。	480 × 720
42	[ライオン]	季節は移ろいます。	1000 × 1500
43	[ネコ]	全身の感覚で周囲を確かめています。	900 × 600
44	[ライオン]	獲物へと導くひとつにアフリカハゲコウの動きがあります。	900 × 600

第2展示室

「 蝕 」

No.	作品名	サイズ (mm)
45	[ネコ] いつもの場所で爪を研ぎます。	1000 × 1500
46	[ライオン] 爪を研ぐ場所は決まっています。	1000 × 1500
47	[ネコ] 出来るだけ高いところに匂いをつけようとしています。	480 × 720
48	[ライオン] 平原の外れにあるアカシアの木に匂いづけします。	720 × 480
49	[ネコ] 子の冒険は危険をはらみます。	1500 × 1000
50	[ライオン] 成長してからも遊びます。	600 × 900
51	[ネコ] メスの準備がまだ整っていません。	480 × 720
52	[ライオン] 背中から降りてくれないオスをメスが一喝。	480 × 720
53	[ネコ] 親子の憩いの場です。	900 × 600
54	[ライオン] 子を遊ばせるのも母親の役目です。	800 × 1200
55	[ネコ] どこからでしょう。水音がします。	600 × 900
56	[ライオン] 湿地帯の休息。耳は辺りの音を聞き逃しません。	600 × 900
57	[ネコ] 潮騒が聞こえてきます。	600 × 900
58	[ライオン] オスがマーキングしています。	600 × 900
59	[ネコ] 社会生活は大切です。	480 × 720
60	[ライオン] 母親に登れば子も登ります。	480 × 720
61	[ネコ] 夏の午後。	900 × 600
62	[ライオン] 乾期の午後。	800 × 1200
63	[ネコ] 抜群の昼寝場所。	600 × 900
64	[ライオン] どこにいても眠たいときには寝ます。	600 × 900
65	[ネコ] 居心地の良さにこだわります。	600 × 900
66	[ライオン] 崖っ縁でしばしの休息です。	1000 × 1500
67	[ネコ] 後ろ脚の動きが刺激になって舌が出ます。	480 × 720
68	[ライオン] タテガミを舌で整えることもあります。	480 × 720
69	[ネコ] 雨脚が強くなってきて軒下へと入ります。	480 × 720
70	[ライオン] 高速回転で雨粒を払います。	480 × 720

71	[ネコ]	納まりがいいですね。	1000 × 1500
72	[ライオン]	乾いた川床に落ち着く親子の時間です。	600 × 900
73	[ネコ]	親がいるから子は安心しています。	600 × 900
74	[ライオン]	子の動きには満足感がうかがえます。	600 × 900
75	[ネコ]	親がいるから子は安心しています。	600 × 900
76	[ライオン]	子の動きには満足感がうかがえます。	600 × 900
77	[ネコ]	匂いで確かめてから触れようとしています。	600 × 900
78	[ライオン]	仕付けでしょう。	600 × 900
79	[ネコ]	匂いで確かめてから触れようとしています。	600 × 900
80	[ライオン]	まだ子は遊び足りないようです。	600 × 900
81	[ネコ]	早朝からでも子は遊べます。	720 × 480
82	[ライオン]	枝に触れると動くのが気に入っているようです。	480 × 720
83	[ネコ]	遊びは無限大です。	600 × 900
84	[ネコ]	遊びは無限大です。	360 × 540
85	[ネコ]	遊びは無限大です。	360 × 540
86	[ライオン]	社会生活への初歩は気の合う遊び相手を見つけることです。	600 × 900
87	[ライオン]	社会生活への初歩は気の合う遊び相手を見つけることです。	360 × 540
88	[ライオン]	社会生活への初歩は気の合う遊び相手を見つけることです。	360 × 540

「味」

No.	作品名	サイズ (mm)
89	[ネコ] 水が欲しいときには優しいヒトが蛇口を開けてくれます。	600 × 900
90	[ライオン] 夕暮れ。活動の前にたっぷりと水を飲みます。	600 × 900
91	[ネコ] “ねこぱんち” 寸前。	800 × 1200
92	[ライオン] 狩りは見るからこそ肝心です。	800 × 1200
93	[ネコ] オスですから獲物を分け合うことはありません。	480 × 720
94	[ネコ] オスですから獲物を分け合うことはありません。	480 × 720
95	[ネコ] 食への執着は瞳孔が大きくなっていることでもうかがえます。	1500 × 2250 (組)
96	[ライオン] オスの夜明け前。ハイエナから獲物のヌーを奪い取って力尽で押さえ込みます。	1500 × 2250 (組)
97	[ライオン] 食への執着を教えてくれるように見えます。	480 × 720
98	[ライオン] 食への執着を教えてくれるように見えます。	480 × 720

第3展示室

No.	作品名	サイズ (mm)
99	[ネコ] 漁師がくれた魚を我が家に持ち帰ります。	600 × 900
100	[ライオン] 獲物のトムソンガゼルを子たちのところに運びます。	600 × 900
101	[ネコ] 食に集中しています。	800 × 1200
102	[ライオン] うなり声が闇に響きます。	800 × 1200
103	[ネコ] 食に集中しています。	600 × 900
104	[ライオン] うなり声が闇に響きます。	600 × 900
105	[ネコ] 好みの噛み味の草を選びます。	480 × 720
106	[ライオン] 草は消化を助けます。	480 × 720
107	[ネコ] おいしいときにも舌を見せます。	600 × 900
108	[ライオン] オッパイの後のこと。	600 × 900
109	[ネコ] 食後のグルーミングはことに熱心です。	360 × 540
110	[ライオン] グルーミング終了前にお尻もきれいにします。	360 × 540
111	[ネコ] 手から爪にかけては時間をかけます。	720 × 480
112	[ライオン] 前足を清潔に保つことはとても大切です。	720 × 480
113	[ネコ] 子を抱きかかえるのも母親の役目です。	600 × 900
114	[ライオン] 授乳後に甘える子を落ち着かせます。	600 × 900
115	[ネコ] 段ボール箱は台所の隅にあります。	600 × 900
116	[ライオン] 母親は草丈が高いところを選んでいます。	1500 × 1000

「嗅」

No.	作品名	サイズ (mm)
117	[ネコ] 匂いをいろいろ嗅ぎ分けています。	600 × 900
118	[ライオン] 風上にはトムソンガゼルの群れがいます。	600 × 900
119	[ネコ] 鼻を出来るだけ高い位置にしています。	600 × 900

120	[ライオン]	鼻、目、そして耳を集中させて獲物へと向かいます。	600 × 900
121	[ネコ]	庭に舞い降りる鳥を狙っています。	480 × 720
122	[ライオン]	狩りは風下からの方が成功率が高いようです。	480 × 720
123	[ネコ]	生まれも育ちも柴又よ。	600 × 900
124	[ライオン]	360度の地平線まで我が家です。	600 × 900
125	[ネコ]	アプローチの方法も重要です。	1000 × 1500
126	[ライオン]	間違えると怪我をします。	600 × 900
127	[ネコ]	メスの準備の程をうかがいます。	480 × 720
128	[ライオン]	メスの機嫌次第です。	480 × 720
129	[ネコ]	恍惚としているのでしょうか。	480 × 720
130	[ライオン]	メスが動けばオスも動きます。	480 × 720
131	[ネコ]	これだけで動き出せます。	600 × 900
132	[ライオン]	ヨガでいう“ネコのポーズ”のお手本です。	600 × 900
133	[ネコ]	漁師の手を見るか、魚を見るかで、獲得が違ってきます。	600 × 900
134	[ライオン]	ヌーの動き次第で飛び出そうというところです。	600 × 900
135	[ネコ]	いい匂いのする方へは足が向きます。	600 × 900
136	[ライオン]	獲物や地形にふさわしい歩きをします。	600 × 900
137	[ネコ]	いい匂いのする方へは足が向きます。	600 × 900
138	[ライオン]	獲物や地形にふさわしい歩きをします。	600 × 900
139	[ネコ]	誰にも邪魔はされません。	480 × 720
140	[ライオン]	スプレー（匂いづけ）しながら現れます。	480 × 720
141	[ネコ]	がっちゃんの得意なポーズです。	1200 × 1800
142	[ライオン]	アクビをして緊張を解こうとしています。	1200 × 1800

第4展示室

「聴」

No.	作品名	サイズ (mm)
143	[ネコ] 澄明な朝。いろいろな音が聞こえ出します。	1000 × 1500
144	[ライオン] 平原を吹き渡る風音がメスの声を消しています。	1000 × 1500
145	[ネコ] 潮が香って波音が聞こえてきます。	480 × 720
146	[ネコ] 潮が香って波音が聞こえてきます。	480 × 720
147	[ライオン] 音のない時間もあります。	600 × 900
148	[ネコ] 湯煙りとせせらぎの温泉地。	600 × 900
149	[ライオン] 「ヌー、ヌー」とヌーが鳴く声が聞こえます。	600 × 900
150	[ネコ] 松尾芭蕉が「閑かさや岩にしみ入る蟬の声」とこの地で詠んでいます。	600 × 900
151	[ライオン] ウーッと優しく子たちに呼びかけています。	600 × 900
152	[ネコ] 喉を鳴らしながらのスキンシップです。	480 × 720
153	[ライオン] 喉を鳴らすのは息を吐くときです。	480 × 720
154	[ネコ] 鳴いてうったえる効果を知っています。	1500 × 1000
155	[ライオン] 大きな鳴き声が太く吠える声を育てるようです。	1500 × 1000
156	[ネコ] 玄関前の朝の始まりです。	600 × 900
157	[ライオン] 雨期になると目が覚めたように動き出します。	600 × 900
158	[ネコ] ちょっとした揉め事でしょう。	480 × 720
159	[ライオン] 唸りながらおきてを教えます。	480 × 720
160	[ネコ] 弾みながらの対応です。	480 × 720
161	[ライオン] エスカレートしてきます。	480 × 720
162	[ネコ] 坂道の傾斜がいい感じで背中に伝わるようです。	480 × 720
163	[ライオン] なぜか後ろ足が垂直です。	480 × 720
164	[ネコ] オスの孤独です。	480 × 720
165	[ライオン] 何かを考えているようには見えません。	480 × 720
166	[ネコ] 家族の肖像。	360 × 540
167	[ライオン] 乾季と雨季。	600 × 900
168	[ネコ] 家族の肖像。	360 × 540
169	[ライオン] 乾季と雨季。	600 × 900
170	[ネコ] 子たちの寝息が聞こえます。	1500 × 1000
171	[ライオン] 子たちは遊び、母親は周囲を確認しています。	1500 × 1000

172	[ネコ] 降っても降ってもまだ降り止みません。	1500 × 1000
173	[ライオン] 雨中でも動くときはあります。	1000 × 1500
174	[ネコ] 待ち侘びるヒトがいます。	600 × 900
175	[ライオン] なわばりの境界線に立ちます。	600 × 900

◇関連記事

印刷物

- ・『市報よこて』 4/15号、5/1号、5/15号、6/1号
- ・『広報あきた』 4/17号
- ・『広報ゆざわ』 4/15号
- ・『広報美郷お知らせ版』 4/15号
- ・秋田魁新報 3/14、4/24、5/2、5/18、5/20、5/31
- ・北鹿新聞 4/9
- ・『教育あきた』 3月号
- ・『生涯学習課だより』 4/28号
- ・『Take Up!』 5月号
- ・『月刊どあつぷ!』 5月号、6月号
- ・『秋田タウン情報』 5月号
- ・『月刊アンドナウ』 5月号、6月号、7月号
- ・『rakra (ラ・クラ)』 5・6月号
- ・『acute(アキュート)』 5月号
- ・『あつぷる』 5月号、7月号
- ・『mari mari』 4/17号、6/5号
- ・『Bouquet』 7月号
- ・『mamaFami』 2015年春号
- ・『猫ぐらし・夏号』 5/12号
- ・『美術の窓』 6月号
- ・『ギャラリー』 5月号、6月号、7月号

テレビ・ラジオ

- ・NHK仙台「ひる＊はぴ」 4/10
- ・ABSラジオ「秋田県からのお知らせ」 4/10
- ・ABSラジオ「あさ採りワイド」 4/22
- ・ABS秋田放送「えびす堂ゴールド」 4/24
- ・ABSラジオ「佐藤有希のあさラテ」 4/25
- ・横手かまくらFM 4/28
- ・ABSラジオ「あさ採りワイド」 4/30

Web

- ・Walkerplus
- ・EVENTBANK
- ・チラシミュージアム
- ・横手市役所Facebook
- ・日本博物館協会HP

ii. 特別展

魔法の美術館

－見て、触れて、遊ぶ 光のアート－

会 期：2015(平成27)年7月11日(土)～9月13日(日) (65日間)

主 催：魔法の美術館実行委員会
(秋田魁新報社／秋田県立近代美術館)

後 援：横手市／横手市教育委員会／NHK秋田放送局／
ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／
CNA秋田ケーブルテレビ／エフエム秋田／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ

企画協力：ステップ・イースト

担 当：西野美佳、木村雅洋

「光のアート」をテーマに、現在活躍中のメディア・アーティスト11組が音や映像を用い、最新の技術を駆使した作品16点を展示した。人の動きに合わせて変化する光、そっと動き出す影、不思議な音や映像など、参加体験しながら作品を鑑賞するという新しい形の展示であったため、子どもから大人まで世代を超えて楽しむことができた。会場は、連日たくさんの来場者で賑わい、県内外から6万人を越えるお客様が訪れた。

関連事業として、東北芸術工科大学総合美術コース准教授の松村泰三氏によるワークショップ「光の箱をつくろう」、秋田吹奏楽団サクソフオーンカルテットによるコンサート「サクソ四重奏」を行い、展覧会を一層盛り上げた。



作品リスト

No.	作家名	題名
第1展示室		
1	坪倉輝明	七色小道
2	岡田憲一	Time Scanner
3	岡田憲一＋冷水久仁江 (LENS)	Pixelman
第2展示室		
4	小松宏誠	LifeLog_シャンデリア
5	小松宏誠	LifeLog_mobile
6	小松宏誠	Secret Garden
7	小松宏誠	his philosophy
8	重田佑介	がそのもり
9	緒方寿人	ON THE FLY PAPER
第3展示室		
10	松村誠一郎	Dancing Mirror
11	坪倉輝明	Vertexceed
12	的場やすし／山野真吾／徳井太郎	Splash Display
13	森脇裕之	レイヨ＝グラフィイー
第4展示室		
14	森脇裕之	光の波紋
15	藤本直明	Immersive Shadow
16	真鍋大度／比嘉了	happy halloween!

◇関連記事

テレビ・ラジオ

- | | | |
|------------|--------------------|------|
| ・NHK秋田 | 県内ニュース（オープニングイベント） | 7/11 |
| ・ABS秋田放送 | 県内ニュース（展覧会・作品紹介） | 7/14 |
| ・AAB秋田朝日放送 | 県内ニュース（展覧会・作品紹介） | 7/31 |

印刷物

- | | |
|--------------------------|---|
| ・秋田魁新聞 | 5/31、7/12、7/16、7/29、8/6、8/10、8/19、8/30、8/31、9/10、9/13 |
| ・河北新報 | 7/22 |
| ・『進研ゼミ小学講座「小6未来！発見BOOK」』 | 8月号 |
| ・『rakra（ラ・クラ）』 | 7・8月号 |
| ・『あっふる』 | 7月号 |
| ・『あきたタウン情報』 | 7月号 |
| ・『take up!』 | 7月号 |
| ・『月刊どあっふ!』 | 7月号、8月号 |
| ・『mari mari』 | No.317 |
| ・『みなみひろば』 | 7/12 |
| ・『湯沢市報』 | |

Web

- ・Walkerplus
- ・横手市公式HP
- ・横手市役所Facebook

iii. 特別展

滝平二郎の世界展

会 期：2015(平成27)年9月19日(土)～11月23日(月・祝) (66日間)
主 催：滝平二郎展実行委員会(秋田県立近代美術館、
秋田朝日放送)
特別協力：滝平二郎事務所
協 力：岩崎書店、福音館書店
企画協力：キュレイターズ
後 援：横手市／横手市教育委員会／横手商工会議所／
秋田魁新報社／河北新報社／朝日新聞秋田総局／
NHK秋田放送局／AKT秋田テレビ／
CNA秋田ケーブルテレビ／岩手朝日テレビ／
KHB東日本放送／株式会社山形テレビ／エフエム秋田／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ
担 当：奈良 香、鈴木 京

秋田・横手とゆかりの深い、滝平二郎氏の展覧会を県内で初めて開催した。絵本「モチモチの木」は知っていても、滝平氏や斎藤隆介氏と秋田とのつながりを知る人は少なく、なじみ深い作品群とともに、そういった点も紹介できればと考えた。展示は、初期の木版画から、名作絵本の原画、そして「きりえ」まで、基本的に時系列で、滝平氏の画業を俯瞰できるものとした。来場される方々が、それぞれに強い思い入れを持っているためか、一人あたりの展示室内滞在時間が長い展観だった。エッセイなど、関連イベントも好評だった。



< 版画・素描 >

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	村の秋	1941	木版／和紙、油性多色摺り (硝子摺り)	23.3×32.3
2	農夫	1947	木版／和紙、油性墨一色摺り	25.0×18.4
3	麦焼き	1948	木版／和紙、油性墨一色摺り	27.5×21.5
4	紅い花	1948	木版／和紙、油性多色摺り	28.5×22.7
5	麦刈り	1949	木版／和紙、油性墨一色摺り	27.6×21.6
6	若い農婦	1949	木版／和紙、油性多色摺り	14.8×10.0
7	秋田にて	1951	木版／和紙、油性墨一色摺り	30.0×22.8
8	土橋	1951	木版／和紙、油性多色摺り (合羽摺り)	18.9×23.0
9	麦畑	1953	木版／和紙、油性多色摺り	36.0×28.6
10	晩秋	1953	木版／和紙、油性多色摺り	36.3×28.8
11	母と子	1954	木版／和紙、油性多色摺り (手彩色)	30.3×22.5
12	霞ヶ浦にて	1955	木版／和紙、油性墨一色摺り	45.5×35.0
13	禁漁ーその1	1956	木版／和紙、油性墨二色摺り	45.6×34.0
14	わかさぎ	1960	木版／和紙、油性多色摺り (タマムシ箔)	35.5×25.8
15	湖畔の母子	1960	木版／和紙、油性多色摺り (タマムシ箔)	33.3×24.5
16	少女	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	39.3×30.5
17	黒猫	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	21.5×15.8
18	冬の子供	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	29.0×41.0
19	夏の子供	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	30.0×40.0
20	夕焼け	1962	木版／和紙、油性多色摺り	33.8×49.7
21	貝とり	1962	木版／和紙、油性多色摺り	30.2×42.2
22	鎌ーその1	1964	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	42.4×30.7
23	鎌ーその2	1964	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	30.7×42.4
24	鉈鎌	1965	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)	48.5×32.0

25	野良帰り	1965	木版／和紙、油性多色摺り	32.5×44.5
26	ひと休み	1965	木版／和紙、油性多色摺り	31.6×40.4
27	ふたり	1966	木版／和紙、油性白一色摺り	46.3×34.7
28	紅い炎	1968	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	71.5×49.5
29	青い炎	1968	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	70.0×49.5
30	縛	1968	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	45.0×30.0
31	姉妹	1968	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	45.0×22.7
32	手	1969	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	39.0×27.8
33	持つ人	1969	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	47.7×18.6
34	ベロだしチョンマーA	1968	木版／和紙、油性多色摺り	23.0×18.5
35	ベロだしチョンマーB	1968	木版／和紙、油性多色摺り	23.0×18.5
36	ゆき	1969	木版／和紙、油性多色摺り（銀箔）	29.0×45.5

< 絵本 >

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	裸の王さま 表紙	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
2	裸の王さま p. 1	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
3	裸の王さま p. 2	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
4	裸の王さま p. 3	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
5	裸の王さま p. 4	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
6	裸の王さま p. 5	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
7	裸の王さま p. 6	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
8	裸の王さま p. 7	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
9	裸の王さま p. 8	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
10	裸の王さま p. 9	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
11	裸の王さま p. 10	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
12	裸の王さま p. 11	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
13	裸の王さま p. 12	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
14	裸の王さま p. 13	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
15	裸の王さま p. 14	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
16	裸の王さま p. 15	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
17	裸の王さま p. 16	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
18	裸の王さま p. 17	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
19	裸の王さま p. 18	1951	木版／和紙、油性多色摺り（白ボール）	38.6×26.1
20	八郎 COVER	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	33.0×48.6
21	八郎 pp. 2-3	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
22	八郎 pp. 4-5	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
23	八郎 pp. 6-7	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
24	八郎 pp. 8-9	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
25	八郎 pp. 10-11	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
26	八郎 pp. 12-13	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
27	八郎 pp. 14-15	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
28	八郎 pp. 16-17	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
29	八郎 pp. 18-19	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
30	八郎 pp. 20-21	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
31	八郎 pp. 22-23	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
32	八郎 pp. 24-25	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
33	八郎 pp. 26-27	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
34	八郎 pp. 28-29	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
35	八郎 pp. 30-31	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り	31.2×46.7
36	さるかに COVER	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	24.5×42.6
37	さるかに pp. 22-23	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	24.5×42.6
38	さるかに pp. 30-31	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	24.5×42.6
39	ちいさいおしろ COVER	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	29.0×45.3
40	ちいさいおしろ p. 3	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
41	ちいさいおしろ p. 13	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5

42	ちいさいおしろ p. 17	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
43	ちいさいおしろ p. 23	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
44	ちいさいおしろ p. 24	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
45	ちいさいおしろ pp. 26-27	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
46	ちいさいおしろ pp. 38-39	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
47	ちいさいおしろ pp. 40-41	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×37.0
48	ちいさいおしろ p. 43	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
49	ちいさいおしろ p. 45	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
50	ちいさいおしろ pp. 46-47	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
51	ちいさいおしろ p. 61	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
52	ちいさいおしろ p. 67	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
53	ちいさいおしろ p. 69	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
54	ちいさいおしろ pp. 80-81	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×37.0
55	ちいさいおしろ p. 83	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ	23.0×18.5
56	三コ COVER	1969	木版／和紙、油性多色摺り	31.2×46.2
57	三コ pp. 12-13	1969	木版／和紙、油性多色摺り	31.2×46.2
58	三コ pp. 30-31	1969	木版／和紙、油性多色摺り	31.2×46.2
59	花さき山 COVER	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	30.0×49.0
60	花さき山 pp. 2-3	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
61	花さき山 pp. 4-5	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
62	花さき山 pp. 6-7	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
63	花さき山 pp. 8-9	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
64	花さき山 pp. 10-11	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
65	花さき山 pp. 12-13	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
66	花さき山 pp. 14-15	1969	洋紙、水彩	25.2×42.5
67	花さき山 pp. 16-17	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
68	花さき山 pp. 18-19	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
69	花さき山 pp. 20-21	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
70	花さき山 pp. 22-23	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
71	花さき山 pp. 24-25	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
72	花さき山 pp. 26-27	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
73	花さき山 pp. 28-29	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
74	花さき山 pp. 30-31	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	25.2×42.5
75	花さき山 試作 1	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	67.0×42.0
76	花さき山 試作 2	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	67.0×42.0
77	モチモチの木 COVER	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
78	モチモチの木 pp. 2-3	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
79	モチモチの木 pp. 4-5	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
80	モチモチの木 pp. 6-7	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
81	モチモチの木 pp. 8-9	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
82	モチモチの木 pp. 10-11	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
83	モチモチの木 pp. 12-13	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
84	モチモチの木 pp. 14-15	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
85	モチモチの木 pp. 16-17	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
86	モチモチの木 pp. 18-19	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
87	モチモチの木 pp. 20-21	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
88	モチモチの木 pp. 22-23	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
89	モチモチの木 pp. 24-25	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
90	モチモチの木 pp. 26-27	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
91	モチモチの木 pp. 28-29	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
92	モチモチの木 pp. 28-29 (三日月)	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×49.0
93	モチモチの木 pp. 30-31	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.5×48.5
94	ひばりの矢 pp. 6-7	1985	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	29.0×49.0
95	ひばりの矢 pp. 8-9	1985	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	29.0×49.0
96	ひばりの矢 pp. 14-15	1985	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	29.0×49.0
97	ひばりの矢 pp. 20-21	1985	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	29.0×49.0

98	ソメコとオニ	COVER	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	32.5×51.5
99	ソメコとオニ	pp. 4-5	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	27.5×47.0
100	ソメコとオニ	pp. 8-9	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	27.5×47.0
101	ソメコとオニ	pp. 20-21	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	27.5×47.0

< きりえ >

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	嫁さま	1970	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	42.0×14.0
2	もちつき	1970	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	43.5×14.0
3	桃の花	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.5×14.0
4	坊主がり	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.4×14.2
5	はと笛	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.4×14.0
6	水ぬるむ	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.4×14.0
7	衣がえ	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.0×14.1
8	金魚	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.5×14.2
9	さんま	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.0×14.0
10	茸狩り	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.3×14.2
11	もらい風呂	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.5×13.9
12	鬼は外	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	41.5×14.0
13	春休み	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	16.9×31.3
14	輪まわし	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	15.1×31.1
15	竹の子	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.2×31.3
16	ねこ柳	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	19.8×36.2
17	花火	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.4
18	すいか	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.6×31.4
19	灯ろう流し	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.4
20	くりひろい	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.5
21	汽車	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.3
22	夕やけ	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.2×31.4
23	元旦	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	16.0×34.9
24	かまくら	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	15.1×30.9
25	梅	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	15.1×30.8
26	雪	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.5
27	さくら	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.5×23.5
28	朧月夜	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.6×23.4
29	夏は来ぬ	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.7×23.6
30	螢こい	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.5×23.5
31	たき火	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	23.0×24.0
32	どんど焼き	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.4×24.4
33	ひなあられ	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.6
34	若葉の候	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
35	ひよこ	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.6
36	晴れ間	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.7×24.8
37	天花粉	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
38	ひぐらし	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
39	影法師	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
40	峠の月	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
41	今日もまたふぶき	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
42	こたつ猫	1974	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×24.5
43	急がばまわれ	1975	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	20.5×28.5
44	一年生	1976	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.1×31.5
45	蠅	1976	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.2×31.5
46	怪談	1976	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.2×31.5
47	水仙	1976	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	22.3×31.7
48	金魚	1977	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	32.5×20.0
49	炉ばた	1977	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	32.5×20.0

50	秋灯（あきともし）	1977	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	32.5×20.0
51	譲葉	1977	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	32.5×20.0
52	炬燵	1977	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	32.5×20.0
53	あじさい	1976	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	30.0×21.3
54	赤とんぼ	1981	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	31.0×26.0
55	初雪	1981	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	31.0×26.0
56	十五夜	1982	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	31.0×26.0
57	山ぶどう	1982	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	31.0×26.0
58	春の小川（山と川シリーズ・春）	1991	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.8×40.3
59	水あそび（山と川シリーズ・夏）	1991	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	28.9×40.3
60	お月さま（遠い日々・秋）	1992	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	27.5×38.5
61	たなばた	1993	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.3×31.0
62	《たなばた》のための下絵	1993	紙、鉛筆	25.6×36.4
63	お獅子	1993	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.3×31.0
64	《お獅子》のための下絵	1993	紙、鉛筆	25.6×38.0
65	春	1995	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.4
66	《春》のための下絵	1995	紙、鉛筆	18.4×25.6
67	菊	1995	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	17.5×31.4
68	《菊》のための下絵	1995	紙、鉛筆	21.9×36.4
69	NHKドラマ『赤ひげ』 タイトルバック用原画 No. 07	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	27.5×35.0
70	NHKドラマ『赤ひげ』 タイトルバック用原画 No. 12	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	24.5×33.0
71	NHKドラマ『赤ひげ』 タイトルバック用原画 No. 13	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	43.5×63.0
72	NHKドラマ『赤ひげ』 タイトルバック用原画 No. 13	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	43.5×63.0
73	NHKドラマ『赤ひげ』 タイトルバック用原画 No. 14	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩	49.5×68.5
74	かるた「江戸いろは」のための原画（41点）	1972	きりえ／和紙・洋紙、墨・網版色指定	各 12.0×8.5
75	かるた「上方いろは」のための原画（48点）	1973	きりえ／和紙・洋紙、墨・網版色指定	各 12.0×8.5
76	江戸いろは（特製版）	1972	四色刷手貼裏打	各 7.5×5.2
77	上方いろは（特製版）	1973	四色刷手貼裏打	各 7.5×5.2

< 素描 >

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	好男像（A）	1940	紙、鉛筆	28.4×23.0
2	自画像（沖縄にて）	1944	紙、鉛筆	21.1×15.7
3	好男像（B）	1946	紙、コンテ	28.4×23.0
4	祖父喜藤太像（A）	1947	紙、コンテ	28.5×23.0
5	祖父喜藤太像（B）	1948	紙、鉛筆・ペン（インク）	28.5×23.0
6	自画像（4つの自画像）	1952	紙、鉛筆	28.6×20.6
7	戦争敗走記／傷	1947	紙、ペン（インク）	40.5×29.5
8	戦争敗走記／骨	1947	紙、ペン（インク）	40.5×29.5
9	戦争敗走記／猿	1947	紙、ペン・筆（インク・墨）	36.0×25.7
10	戦争敗走記／水	1947	紙、ペン（インク）	36.0×25.7
11	戦争敗走記／部隊長	1947	紙、ペン（インク）	36.0×25.7
12	戦争敗走記／誘い	1947	紙、ペン・筆（インク・墨）	31.8×29.3
13	戦争敗走記／望郷	1947	紙、ペン・筆（インク・墨）	31.8×29.3
14	戦争敗走記／お守り	1947	紙、ペン（インク）	31.8×29.3
15	戦争敗走記／照明弾	1947	紙、ペン（インク）	31.8×29.3
16	滝平二郎が生前使っていた道具 （彫刻刀、馬棟など）			

◇関連記事

テレビ・ラジオ

- ・秋田朝日放送 県内ニュース 9/18、9/19、9/26、10/10、10/17、11/13
- ・NHK 県内ニュース 9/19、11/16
- ・よこてかまくらFM 滝平加根さんインタビュー 10/28、10/29
- ・エフエムユーとぴあ 9/16

印刷物

- ・『一関博物館 平成27年度年間行事予定』
- ・『あきた県民文化芸術祭ガイドブック』
- ・『take up!』 8月号、9月号
- ・『月刊どあっぷ』 8月号、9月号
- ・『月刊美術』 9月号
- ・『生涯学習課だより』 8/25
- ・『月刊アンドナウ9月号』 8/25
- ・『rakra (ラ・クラ)』 9・10月号
- ・『MariMari』 8月号、11月号
- ・『あっぷる』 9月号
- ・『広報美郷お知らせ版』 8/14
- ・『acute(アキュート)』 9月号
- ・『教育あきた』 9月号（裏表紙）
- ・秋田魁新報 8/31、9/26、9/27、9/30、10/7、10/29、11/14
- ・『新美術新聞』 9/1
- ・『広報ゆざわ』 9/1号
- ・『朝日とうほくマリオン』 9/16
- ・岩手日日新聞 9/17
- ・北鹿新聞 9/24
- ・『あきたタウン情報』 10月号
- ・『クルール』 10月号
- ・『市報よこて』 10/1
- ・河北新報 10/15
- ・『Bouquet vol.35』 10/21
- ・山形新聞 10/29
- ・『あおぼ vol.995』 10/30

Web

- ・Walkerplus
- ・県公式Facebook、Twitter 9/1

iv. 特別展

峯田敏郎彫刻展

記念撮影－存在と気配そして空気－

会 期：2015(平成27)年11月29日(日)～2016(平成28)年2月7日(日)(58日間)

主 催：秋田県立近代美術館

共 催：ABS秋田放送

後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／
河北新報社／朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／
読売新聞秋田支局／産経新聞社秋田支局／
AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび

担 当：保泉 充、藤井正輝

日本各地の風土や気候を心に刻み作品としてきた、彫刻家・峯田敏郎の展覧会。山形県に生まれた峯田敏郎は、東京教育大学(現・筑波大学)で木村珪二、新海竹蔵らに学び、文部省内地留学制度で赴いた東京芸術大学では舟越保武に学んだ。北海道をはじめ全国各地の大学で教鞭を執った峯田だが、30歳代後半から40歳代後半の10年近くを過ごした秋田では、峯田芸術を象徴する数々の作品を制作した。

本展では、国展を中心に発表された峯田の初期から現在までの作品約30点と、制作のために描かれたデッサンを展示し、その創造の軌跡をご覧いただいた。



No.	作品名	制作年	素材	寸法(高さ×幅×奥行き、cm)
◆北海道時代				
1	トルソ	1968(昭和43)	桂	170.0× 50.0× 45.0
2	ポーズする女	1969(昭和44)	FRP	180.0× 55.0× 56.0
3	腕組みの女	1969(昭和44)	桂	95.0× 25.0× 22.0
4	ひげの学生	1970(昭和45)	石膏	45.0× 25.0× 27.0
5	海も空も二人の女も	1971(昭和46)	桂	123.0× 181.0× 72.0
6	唄う女	1972(昭和47)	FRP	120.0× 36.0× 20.0
7	北国	1975(昭和50)	ブロンズ	28.0× 22.0× 22.0
8	由比ヶ浜の夏	1976(昭和51)	ブロンズ	55.0× 20.0× 12.0
9	南窓の部屋	1977(昭和52)	ブロンズ	30.0× 27.0× 48.5
◆秋田時代				
10	手形学園町	1978(昭和53)	石膏	30.0× 24.0× 27.0
11	転勤	1979(昭和54)	桂、櫛	160.0× 166.0× 62.0
12	N第3防波堤	1979(昭和54)	ブロンズ	41.0× 33.0× 11.0
13	北の防波堤	1980(昭和55)	ブロンズ	58.0× 32.0× 29.0
14	芝居は終わった	1981(昭和56)	桂	182.0× 180.0× 60.0
15	通りすぎる人－窓－	1985(昭和60)	桂	225.0× 93.0× 111.0
16	記念撮影	1986(昭和61)	桂	290.0× 80.0× 78.0
◆上越時代				
17	記念撮影－座－	1987(昭和62)	桂	193.5× 180.0× 94.0
18	記念撮影－私の住んだ街－	1990(平成 2)	桂	300.0× 230.0× 130.0
19	おんな－金沢－	1990(平成 2)	テラコッタ	53.0× 39.0× 25.0

20	おんな－函館－	1991(平成 3)	テラコッタ	60.0× 39.0× 20.0
21	おんな－沖縄－	1991(平成 3)	テラコッタ	66.0× 40.0× 25.0
22	記念撮影－時の化石－	1993(平成 5)	桂、紅松	300.0× 300.0× 270.0
23	記念撮影－いつもの海－	1994(平成 6)	ブロンズ、紅松	80.0× 80.0× 30.0
24	記念撮影－きのう・きょう・あした－	1996(平成 8)	桂、紅松	260.0× 230.0× 130.0

◆つくば・現在（牛久・東京）

25	おんな－鈴鹿－	1997(平成 9)	テラコッタ	66.0× 40.0× 20.0
26	記念撮影－塀－	2000(平成12)	樟	170.0× 450.0× 80.0
27	記念撮影－女優C－	2002(平成14)	樟	50.0× 30.0× 25.0
28	記念撮影－異人館・阿仁－	2004(平成16)	樟・銅・真鍮 彩色	168.0× 140.0× 95.0
29	記念撮影－内陸縦貫鉄道・初めての旅－	2005(平成17)	樟・桂、彩色	124.8× 106.5× 67.0
30	記念撮影－壁－	2006(平成18)	樟・桂、彩色	137.0× 150.0× 100.0
31	記念撮影－遠い日の風音・私のふるさと－	2013(平成25)	桂・真鍮	170.0× 110.0× 90.0
32	記念撮影－それぞれの日常－	2014(平成26)	樟・彩色	60.0× 100.0× 60.0

◇関連記事

テレビ・ラジオ

- ・NHK仙台ラジオ「おしらせ情報」

印刷物

- ・北鹿新聞 11/26、1/28
- ・『月刊ギャラリー』 12月号
- ・『あおぼ』 12/25号
- ・秋田魁新聞 2/6、1/6、1/13
- ・『美術の窓』
- ・『acute(アキュート)』
- ・『和楽』

Web

- ・Walkerplus

V. 企画展

食～自然からの恵み～展

会 期：2016(平成28)年2月13日(土)～4月17日(日) (65日間)
主 催：秋田県立近代美術館
後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／
河北新報社／朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／
読売新聞秋田支局／産経新聞社秋田支局／NHK秋田放送局／
ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／
エフエム秋田／横手かまくらFM／
エフエムゆーとびあ／FMはなび
担 当：鈴木 京、保泉 充、奈良 香

本展では、稲作や八郎潟の漁など食料生産の風景、餅作りやかまくらなどの季節にちなんだ「食」を囲む人々の様子、秋田の豊かな自然に育まれたみずみずしい食材など、食をテーマとした幅広い作品を4つのセクションに分けてご紹介した。秋田における「食」の営みは作家にとっては身近なよき芸術的題材となったようで、沢山の作品が制作されている。私たちがいつも目にしている身近な風景が、作家たちの手によってどのように作品化されたのか、それぞれの違いやその味わいをお楽しみいただいた。



第1展示室 〈狩・猟－環境と食〉					
No.	作家	作品名	制作年	材質	所蔵
1	福田豊四郎	八幡平	1952(昭和27)	紙本着色	
2	—	磨製石斧 (旧二ツ井町 麻生遺跡採集)	縄文時代晩期 (今から約2,500年前)	緑色岩	秋田県立博物館蔵
参考	—	石斧レプリカ		—	秋田県立博物館蔵
3	—	石鏃 (旧田沢湖町 黒倉遺跡出土)	縄文時代後期 (今から約3,500年前)	珪質頁岩、鉄石英、黒曜石	秋田県立博物館蔵
参考	—	弓矢レプリカ		—	秋田県立博物館蔵
4	—	石槍 (旧稲川町 三又字高村北出土)	縄文時代中期 (今から約4,500年前)	珪質頁岩	秋田県立博物館蔵
参考	—	石槍レプリカ		—	秋田県立博物館蔵
5	—	石錘 (能代市桧山採集)	縄文時代前期 (今から約6,000年前)	安山岩、砂岩、珪質頁岩	秋田県立博物館蔵
6	—	石匙 (男鹿市船川港比詰大沢採集)	縄文時代(時期不明)	珪質頁岩	秋田県立博物館蔵
7	—	石皿 (旧六郷町 石名館遺跡採集)	縄文時代晩期 (今から約3,000年前)	安山岩	秋田県立博物館蔵
8	—	磨石(出土地不明)	縄文時代(時期不明)	安山岩	
9	—	深鉢形土器 (旧協和町 上ノ山遺跡出土)	縄文時代中期 (今から約5,000年前)	—	秋田県立博物館蔵
10	—	深鉢形土器 (旧協和町 上ノ山遺跡出土)	縄文時代中期 (今から約5,000年前)	—	秋田県立博物館蔵
11	—	壺形土器 (大館市 矢石館遺跡出土)	縄文時代晩期 (今から約3,000年前)	—	秋田県立博物館蔵
12	—	注口土器 (旧鷹巣町 藤株遺跡出土)	縄文時代晩期 (今から約2,800年前)	—	秋田県立博物館蔵
13	福田豊四郎	山の秋	1931(昭和6)	紙本着色	
14	福田豊四郎	栗(スケッチ)	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩	

14	柴田安子	胡桃（スケッチ）	制作年不詳	紙、鉛筆、インク	
15	奈良裕功	コゴミ（スケッチ）	1936（昭和11）	紙、鉛筆、水彩	
16	奈良裕功	山女魚（スケッチ）	1935（昭和10）	紙、鉛筆、水彩	
17	奈良裕功	根曲竹（スケッチ）	1932（昭和7）	紙、鉛筆、水彩	
18	奈良裕功	鰯（スケッチ）	1932（昭和7）	紙、鉛筆、水彩	
19	奈良裕功	牛尾菜（スケッチ）	1932（昭和7）	紙、鉛筆、水彩	
20	福田豊四郎	及川（スケッチ）	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩、墨	
21	福田豊四郎	山菜（スケッチ）	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩	
22	河津五郎	竹の子	制作年不詳	木	
23	福田豊四郎	山菜	1955（昭和30）	紙本着色	
24	福田豊四郎	山菜売る人達	1932（昭和7）	紙本着色	
25	—	ハタハタ標本	制作年不詳	—	秋田県立博物館蔵
26	高橋萬年	ハタハタ（スケッチ）	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩	
27	小田野直武	雷魚図	1770年代（安永年間）	紙本着色	
28	福田豊四郎	八郎湖凍漁	1941（昭和16）	紙本着色	
29	勝平得之	八郎湖冬の漁場	1960（昭和35）	木版、紙、泥絵具	

第2展示室 〈育－管理する食〉

No.	作家	作品名	制作年	材質	所蔵
30-1	勝平得之	農民風俗十二月・わら打	1949（昭和24）	木版、紙、泥絵具	
30-2	勝平得之	農民風俗十二月・そりひき	1950（昭和25）	木版、紙、泥絵具	
30-3	勝平得之	農民風俗十二月・堆肥	1949（昭和24）	木版、紙、泥絵具	
30-4	勝平得之	農民風俗十二月・種まき	1949（昭和24）	木版、紙、泥絵具	
30-5	勝平得之	農民風俗十二月・早乙女	1950（昭和25）	木版、紙、泥絵具	
30-6	勝平得之	農民風俗十二月・除草	1949（昭和24）	木版、紙、泥絵具	
30-7	勝平得之	農民風俗十二月・水車	1950（昭和25）	木版、紙、泥絵具	
30-8	勝平得之	農民風俗十二月・雀追い	1951（昭和26）	木版、紙、泥絵具	
30-9	勝平得之	農民風俗十二月・稲刈り	1951（昭和26）	木版、紙、泥絵具	
30-10	勝平得之	農民風俗十二月・穂によ	1949（昭和24）	木版、紙、泥絵具	
30-11	勝平得之	農民風俗十二月・大根干し	1950（昭和25）	木版、紙、泥絵具	
30-12	勝平得之	農民風俗十二月・供米	1951（昭和26）	木版、紙、泥絵具	
31	柴田安子	スケッチ 田植Ⅰ	制作年不詳	紙、鉛筆	
32	柴田安子	スケッチ 田植Ⅲ	制作年不詳	紙、鉛筆	
33	柴田安子	スケッチ 秋の田園Ⅰ	制作年不詳	紙、鉛筆、色鉛筆、水彩	
34	柴田安子	スケッチ 秋の田園Ⅱ	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩	
35	柴田安子	スケッチ 秋の田園Ⅲ	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩	
36	千葉禎介	春耕	1950年頃	ゼラチンシルバープリント	
37	千葉禎介	雀追い	1943（昭和18）頃	ゼラチンシルバープリント	
38	千葉禎介	春さん	1950年代	ゼラチンシルバープリント	
39	千葉禎介	収穫	1958（昭和33）	ゼラチンシルバープリント	
40	高橋萬年	農夫	1940（昭和15）	紙本着色	
41	高橋萬年	午睡	1954（昭和29）	紙本着色	
42	高橋萬年	田	1951（昭和26）	紙本着色	
43	高橋萬年	収穫（仮題）	制作年不詳	絹本着色	
44	高橋萬年	収穫	制作年不詳	紙本着色	
45	高橋萬年	なわない	制作年不詳	絹本着色	
46	高橋萬年	飯詰児	制作年不詳	絹本着色	
47	柴田春光	狭布の里	1928（昭和3）	絹本着色	
48	酒井三良	残照	1923（大正12）	紙本着色	
49	千葉禎介	市場のお昼	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント	
50	千葉禎介	雪国の市	1963（昭和38）	ゼラチンシルバープリント	

51	千葉禎介	鯉売り	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント
52	千葉禎介	素朴な市	1952（昭和27）	ゼラチンシルバープリント
53	千葉禎介	市場	1949（昭和24）	ゼラチンシルバープリント
54	千葉禎介	朝市	1940年代	ゼラチンシルバープリント
55	千葉禎介	雑貨屋	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント
56	千葉禎介	餅つき1-1、1-3	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント

第3展示室 〈憩－安らぎの食〉

No.	作家	作品名	制作年	材質	所蔵
57	渡辺洞昌	恵比寿・大黒	1845（弘化2）	絹本着色	秋田県立博物館蔵
58	—	箱膳	制作年不詳	—	
59	寺崎廣業	不忍池畔	1894（明治27）	絹本着色	
60	竹村篁邨	恵比寿・大黒	制作年不詳	絹本着色	
61	平福穂庵	乞食図	1880（明治13）	絹本墨画淡彩	
62	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948（昭和23）	紙本着色	
63-1	勝平得之	秋田風俗十題・いろり	1939（昭和14）	木版、紙、泥絵具	
63-2	勝平得之	秋田風俗十題・かまど	1940（昭和15）	木版、紙、泥絵具	
63-3	勝平得之	秋田風俗十題・うまや	1940（昭和15）	木版、紙、泥絵具	
63-4	勝平得之	秋田風俗十題・ドツタ	1940（昭和15）	木版、紙、泥絵具	
63-5	勝平得之	秋田風俗十題・リンゴ	1940（昭和15）	木版、紙、泥絵具	秋田県立博物館蔵
63-6	勝平得之	秋田風俗十題・はり	1941（昭和16）	木版、紙、泥絵具	
63-7	勝平得之	秋田風俗十題・まゆだま	1941（昭和16）	木版、紙、泥絵具	
63-8	勝平得之	秋田風俗十題・ささまき	1942（昭和17）	木版、紙、泥絵具	
63-9	勝平得之	秋田風俗十題・みづき	1943（昭和18）	木版、紙、泥絵具	
63-10	勝平得之	秋田風俗十題・かきだて	1943（昭和18）	木版、紙、泥絵具	
64	勝平得之	かまくら	1953（昭和28）	木版、紙、泥絵具	
65	千葉禎介	兎小屋	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント	
66	千葉禎介	手酌の男	1950年代	ゼラチンシルバープリント	秋田県立博物館蔵
67	千葉禎介	炉端	1940年代	ゼラチンシルバープリント	
68	千葉禎介	語らい	1952（昭和27）	ゼラチンシルバープリント	
69	千葉禎介	昼食	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント	
70	千葉禎介	傷む子	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント	
71	千葉禎介	嫁ぐ日（二）	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント	
72	千葉禎介	あーん	撮影年不詳	ゼラチンシルバープリント	
73	—	通い徳利「千歳盛」	制作年不詳	—	
74	—	徳利・猪口	制作年不詳	—	
75	—	食器かご	制作年不詳	—	秋田県立博物館蔵
76	—	鉄瓶	制作年不詳	—	
77	—	珪藻土七輪	制作年不詳	—	
78	福田豊四郎	圍炉裡	1935（昭和10）頃	紙本着色	

第4展示室 〈選－モチーフとしての食〉

No.	作家	作品名	制作年	材質	所蔵
79	小杉放庵	黒真珠	制作年不詳	紙本着色	寄託品
80	作者不詳	果菜図	制作年不詳	絹本着色	
81	小田野直武	鱒図	1770年代（安永年間）	紙本着色	
82	平福穂庵	鮭之図	1888（明治21）頃	絹本墨画淡彩	
83	平福穂庵	軍鶏	1886（明治19）	絹本墨画淡彩	
84	平福百穂	鳳仙花と七面鳥	大正期	紙本着色	
85	平福百穂	菜圃	1920（大正9）	絹本着色	
86	福田豊四郎	鶏とほうき草	1923（大正12）	紙本着色	

87	河津五郎	茄子に飛蝗	制作年不詳	木
88	河津五郎	茄子に天道虫	制作年不詳	木
89	川端龍子	松鯉図	制作年不詳	絹本着色
90	柴田安子	フサスグリ (スケッチ)	制作年不詳	紙、鉛筆、インク
91	福田豊四郎	梅の實 (スケッチ)	1920 (大正9)	紙、墨、水彩
92	福田豊四郎	笹に桃 (スケッチ)	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩
93	福田豊四郎	レンコン (スケッチ)	1927 (昭和2)	紙、鉛筆、水彩
94	福田豊四郎	イカ (スケッチ)	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩
95	福田豊四郎	金目鯛 (スケッチ)	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩
96	福田豊四郎	のこぎりがざみ (スケッチ)	制作年不詳	紙・鉛筆、水彩
97	福田豊四郎	伊勢海老 (スケッチ)	1936 (昭和11)	紙、鉛筆、墨、水彩
98	伊藤弥太	香魚松茸図	制作年不詳	絹本着色
99	伊藤弥太	静物	制作年不詳	紙本淡彩
100	藤田嗣治	木の実と魚	制作年不詳	紙本墨画淡彩
101	藤田嗣治	カニ	1938 (昭和13) 頃	紙本墨画

◇関連記事

テレビ

- ・NHK「日曜美術館 アートシーン」3/13(日)放映

ラジオ

- ・横手かまくらFM 2/10(水)放送
- ・エフエムゆーとぴあ 放送3/16(水)放送

Web

- ・Walkerplus 2016年2月イベント情報
- ・日本博物館協会会員館ガイド 情報掲載
- ・『和楽』サイト イベント掲載
- ・NHK日曜美術館HP掲載 http://www.nhk.or.jp/nichibi/art_scene/

印刷物

- ・新聞広報「県からのお知らせ」1月号、秋田魁新報2016.1/17
- ・『美術の窓』(生活の友社) 2016年2月号 (1/20発売)
- ・『月刊アンドナウ』 2016年2月号 (1/25発売)
- ・『take up!』 2月号 (1/15発売)
- ・『広報かたがみ』 2月号
- ・『広報美郷』 平成28年2/15号
- ・『教育あきた』 3月号 topics
- ・イオン横手店チラシ
- ・『rakra (ラ・クラ)』 3・4月号
- ・毎日新聞 2/11掲載
- ・『Bouquet』(Pick Up Happy のコーナー) 2/17発行
- ・北鹿新聞 2/25掲載
- ・『青いぼすと』 3/4号
- ・秋田魁新報 weekendプラス 3/10掲載
- ・朝日新聞 とうほくマリオン 3/16掲載
- ・『marimari』 3/18号

ミュージアムスケジュール

- ・『芸術新潮』2016年3月号EXHIBITION 3/25掲載
- ・『月刊GALLERY』2016.Vol.3 2016.3/1

コレクション展

i. 2015コレクション展

第Ⅰ期 Where is a Flower? 花はどこにある

会期：2015(平成27)年4月8日(水)～7月12日(日)

第1展示室(6階)：「Where is a Flower? 花はどこにある ー冬ー」

第2展示室(6階)：「Where is a Flower? 花はどこにある ー春ー」

第3展示室(6階)：「日本画家信太金昌 追悼展」

担当：保泉 充



No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横 cm)
第1展示室 「Where is a Flower? 花はどこにある ー冬ー」					
1	堀川達三郎	杜	1963(昭和38)	紙本着色額装	181.8×227.3
2	小泉 淳作	春を待つ鳥海山	1995(平成 7)	紙本墨画淡彩額装	155.0×271.0
3	平福 百穂	雪中南天雀	—	紙本金地着色軸装(扇面)	33.5× 56.8
4	三村 治男	雪の朝	1982(昭和57)	木板・紙・額装	38.0× 25.5
5	三村 治男	冬の午後	1992(平成 4)	木板・紙・額装	37.0× 56.0
6	勝平 得之	秋田風俗十態・あねこ	1936(昭和11)	板目木板・紙・額装	39.9× 28.8
7	勝平 得之	千秋公園八景・松下門跡	1937(昭和12)	板目木板・紙・額装	22.4× 29.7
8	勝平 得之	花四題・冬・なんてん	1939(昭和14)	板目木板・紙・額装	67.2× 36.9
9	勝平 得之	秋田風俗十題・まゆだま	1941(昭和16)	板目木板・紙・額装	29.0× 40.0
10	勝平 得之	花売風俗十二題・かんばな	1959(昭和34)	板目木板・紙・額装	21.0× 14.9
11	荘司 福	温室	1950(昭和25)	紙本着色額装	168.0×150.0
12	佐々木裕久	天と地の対話(仮題)	—	紙本着色額装	163.8×232.8
13	横山 津恵	なまはげのくる日	1969(昭和44)	紙本着色額装	151.5× 76.2
14	木島 恭一	冬の木(冬眠から)	1969(昭和44)	キャンバス・油彩・額装	162.2×390.9
15	葛西 康	雪讃歌D	1964(昭和39)	キャンバス・油彩・額装	162.0×130.0
16	河村千代三	残雪の花	1956(昭和31)	キャンバス・油彩・額装	91.0× 72.8
17	伊藤 博次	季節の章(雪)	1989(平成元)	キャンバス・油彩・額装	90.9×116.7
第2展示室 「Where is a Flower? 花はどこにある ー春ー」					
18	高橋 萬年	白梅	—	紙本着色額装	85.5×107.0
19	荘司 福	季	1995(平成 7)	紙本着色額装	170.0×310.0
20	高橋 清見	花明り	1994(平成 6)	紙本着色額装	195.0×195.0
21	倉田 松濤	松樹梅樹	1924(大正13)	紙本墨画淡彩軸装(対幅)	各139.0×66.0
22	平福 百穂	富貴之臺	1917(大正 6)	絹本着色軸装	141.7× 50.3
23	高橋 萬年	牡丹	—	絹本着色軸装	137.0× 51.0
24	平福 穂庵	墨堤舟遊	1880(明治20)	絹本着色軸装	127.5× 55.0
25	福田豊四郎	山春	1930(昭和 5)	絹本着色額装(2面)	各228.8×106.8
26	横山 津恵	草の上	1953(昭和28)	紙本着色額装	125.5×119.0
27	小田野直武	不忍池図	1770年代	絹本着色額装	98.5×132.5
28	石川大浪・孟高	ファン・ロイエン筆花鳥図模写	1796(寛政 8)	紙本着色軸装	232.8×107.0
29	川端 玉章	四時群花図	1877(明治10)頃	絹本金地着色額装	43.1× 68.3
30	結城 素明	不老富貴図	—	絹本着色軸装(対幅)	各127.0×41.8
31	小松 均	花の森	1932(昭和 7)	紙本着色額装	181.0×194.5
32	荘司 福	萌炎	1974(昭和49)	紙本着色額装	75.4× 63.5
33	小松 均	朱牡丹図	1975(昭和50)	紙本着色額装	61.5× 89.5
34	木下 育應	風舞	1982(昭和57)	紙本着色額装	91.0× 73.0
第3展示室 「日本画家信太金昌 追悼展」					
1	信太 金昌	高原	1953(昭和28)	紙本着色額装	195.5×105.5
2	〃	秋	1954(昭和29)	紙本着色額装	184.7×153.0
3	〃	葦と森	1957(昭和32)	紙本着色額装	153.0×182.0
4	〃	源流	1959(昭和34)	紙本着色額装	162.1×130.3
5	〃	秋湖	1966(昭和41)	紙本着色額装	182.0×152.0
6	〃	冬裡宿秋	1982(昭和57)	紙本着色額装	162.1×227.3
7	〃	孤愁の浜	1992(平成 4)	紙本着色額装	181.8×227.3

ii. 2015コレクション展

第Ⅱ期 所蔵品にみる中国 images of China

会期：2015(平成27)年7月15日(水)～10月4日(日)

第1展示室(6階)：「花鳥・人物 あこがれのすがた」

第2展示室(6階)：「イメージの中の風景」

第3展示室(6階)：「書の世界」

担当：鈴木 京



第1展示室 花鳥・人物 あこがれのすがた						
No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)		素材
1	沈 南 蘋	鶴	1738(元文 3)	103.4× 49.4	対幅	絹本着色
2	佐々木原善	菊花に蠅螂・牡丹に蝶	江戸中期	各 108.5× 28.5	対幅	絹本着色
3	戸村後草園	花鳥	1827(文政10)	121.0× 46.8	1幅	紙本墨画 淡彩
4	白 雲	臘梅	1819(文化 7)	129.0× 52.0	1幅	紙本墨画 淡彩
5	田代 忠国 佐竹 義躬	紅毛玻璃器図	1700年代後半 (安永 - 寛政年間)	37.0× 53.0	1幅	絹本着色
6	(伝)小田野直林	唐美人奏楽	江戸期	132.0× 55.0	1幅	紙本着色
7	小田野直武	唐太宗・花鳥山水	江戸中期	各 122.0× 44.5	3幅 対	絹本着色
8	長山 孔寅	梅下遊興図	1800年代初期	62.5× 150.0	1 幅	絹本墨画 着色
9	岡田 琴湖	寒山拾得	明治 - 昭和期	各 135.0× 60.0	2曲1隻	紙本墨画
10	寺崎 廣業	羅浮仙図	1913(大正 2)	226.0× 56.5	1幅	絹本着色
11	吉川 壺華	駿馬	制作年不詳	140.0× 51.0	1幅	絹本着色
12	小川 芋銭	浪裡白跳	制作年不詳	60.3× 90.5	1 幅	紙本墨画 淡彩
13	平福 穂庵	西王母	1890(明治23)頃	147.8× 64.8	1 幅	絹本着色
14	筆者不詳	韃靼狩獵図屏風	制作年不明	各 158.5× 242.0	6曲1双	紙本着色

第2展示室 イメージの中の風景						
No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)		素材
15	柴田 是真	蘭亭曲水図	幕末・明治期	155.0× 86.0	1幅	絹本着色
16	加藤 雪窓	知音	1897(明治30)	145.0× 71.0	1幅	絹本着色
17	平福 穂庵	緑蔭清談	1886(明治19)	150.0× 79.2	1 幅	紙本墨画 淡彩
18	寺崎 廣業	瀟湘八景	1912(大正元)	52.1× 86.8	8幅	紙本着色
19	平福 百穂	江天暮雪	1927(昭和 2)	137.5× 45.0	1 幅	紙本墨画 淡彩
20	平福 百穂	芳池育鱗	1921(大正10)	48.0× 59.0	1 幅	紙本墨画 淡彩
21	小杉 放菴	山湖閑亭	制作年不明	38.0× 45.5	額装	キャンバス、油彩
22	福田豊四郎	北京の屋根	1957(昭和32)	50.0× 73.0	額装	紙本着色
23	福田豊四郎	敦煌	1959(昭和34)	162.1× 97.0	額装	紙本着色
24	山口 静恵	菩薩像	1952(昭和27)	217.0× 169.0	額装	紙本着色
25	月居 偉光	洞窟浄土	1983(昭和58)	240.0× 178.0	額装	紙本墨画 淡彩

第3展示室 書の世界						
No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)		素材
26	赤星 藍城	寧静致遠	制作年不明	94.0× 101.5	額装	紙、墨
27	赤星 藍城	秋田二十一景	1931(昭和 6)	各 22.0× 17.0	画帳1冊	紙、墨
28	山口 蘭溪	華筵燦爛	制作年不明	33.0× 123.0	額装	紙、墨
29	松井 如流	杜甫 北征詩	1932(昭和 7)	各 241.0× 60.0	対幅	紙、墨
30	松井 如流	臨張遷碑	1933(昭和 8)	242.0× 110.0	1幅	紙、墨
31	松井 如流	韋応物石鼓歌	1958(昭和33)	222.0× 80.0	額装	紙、墨
32	松井 如流	龍虎	1970(昭和45)	138.0× 400.0	額装	紙、墨
33	大井 錦亭	畫龍點晴	1995(平成 7)	150.0× 600.0	額装4面	紙、墨

iii. 2015コレクション展

第Ⅲ期 横手・湯沢の洋画家たち

会期：2015（平成27）年10月7日（水）～2016（平成28）年1月11日（月・祝）

休館日：2015（平成27）年12月29日（火）～31日（木）

第1展示室(6階)：近代美術館日本画名作選

第2・第3展示室(6階)：横手・湯沢の洋画家たち

担当：木村雅洋



第1展示室「近代美術館日本画名作選」

No.	作家名	作品名	制作年	材質	寸法(cm)
1	寺崎 廣業	高山清秋	1914(大正 3)	絹本裏箔着色六曲一双	各168.2×364.2
2	小田野直武	岩に牡丹	1770年代	絹本着色額装	48.3× 72.7
3	平福 穂庵	祐天上人霊夢	1889(明治22)	絹本着色軸装	123.0× 53.0
4	平福 百穂	堅田の一休	1929(昭和 4)	絹本墨画淡彩軸装	115.0× 95.0
5	平福 百穂	古柏栗鼠	—	絹本着色軸装	135.5× 45.0
6	小杉 放菴	雀の御宿	—	紙本墨画淡彩軸装	39.0× 43.0
7	鏑木 清方	秋の夜	1919(大正 8)	絹本着色軸装	140.3× 50.7
8	谷口 深秋	姉妹	1932(昭和 7)	紙本着色額装	146.0×152.5
9	高橋 萬年	銀座尾張町	—	絹本着色額装	98.5×145.5
10	福田豊四郎	樹氷	1937(昭和12)	紙本着色4曲1隻	210.5×371.0
11	渡部 榮子	春を待つ	1977(昭和52)	紙本着色額装	129.8× 70.2
12	高橋 清見	雪明り	1995(平成 7)	紙本着色額装	180.0×223.0
13	藤田 嗣治	雪国の少女	1936(昭和11)	紙本墨画淡彩額装	124.6× 30.8

第2展示室「横手・湯沢の洋画家たち」

No.	作家名	作品名	制作年	材質	寸法(cm)
14	井上 松治	洛北の新雪	—	キャンバス・油彩・額装	45.5× 60.6
15	井上 松治	雨あがり	—	キャンバス・油彩・額装	72.8× 91.0
16	水戸敬之助	室内	1965(昭和40)	キャンバス・油彩・額装	112.1×145.5
17	水戸敬之助	あやつり人形のある部屋	—	キャンバス・油彩・額装	111.0×144.0
18	佐藤 義雄	自画像	1935(昭和10)頃	キャンバス・油彩・額装	41.0× 31.8
19	佐藤 義雄	室内裸婦群像	1972(昭和47)	キャンバス・油彩・額装	130.3×162.1
20	佐々木宗一郎	けし	1981(昭和56)	キャンバス・油彩・額装	130.3×162.1
21	佐々木宗一郎	南国の名残り	1974(昭和49)	キャンバス・油彩・額装	130.3×162.1
22	木村 榮治	黒い雨 1	1971(昭和46)	キャンバス・油彩・額装	162.7×131.8
23	木村 榮治	帽子と男と狐面と	1978(昭和53)	キャンバス・油彩・額装	162.0×130.1
24	小川 恒雄	ゆりかご	1991(平成 3)	キャンバス・油彩・額装	181.3×227.3
25	小川 恒雄	木と風から(対話)(寄託品)	2001-2002(平成13-14)	キャンバス・油彩・額装	115.0×191.0
26	由利 耶一	夜の花屋	1962(昭和37)	キャンバス・油彩・額装	116.6× 91.2
27	由利 耶一	北の四季	2005(平成17)	キャンバス・油彩・額装	130.0×162.1
28	金沢秀之助	肉屋の店(寄託品)	1952(昭和27)	キャンバス・油彩・額装	162.0×130.3
29	金沢秀之助	樹下弾琴	1966(昭和41)	キャンバス・油彩・額装	130.3× 97.0
30	金沢秀之助	奈良公園にて	1967(昭和42)	キャンバス・油彩・額装	53.0× 65.2

第3展示室「横手・湯沢の洋画家たち」

No.	作家名	作品名	制作年	材質	寸法(cm)
31	伊藤 康夫	逃荒の部落	1978(昭和53)	キャンバス・油彩・額装	193.9×162.1
32	伊藤 康夫	ARCADIA<午後の光>	1998(平成10)	キャンバス・油彩・額装	162.0×194.0
33	加藤 貞子	石の雨が降る(寄託品)	1988(昭和63)	キャンバス・油彩・額装	162.0×162.0
34	加藤 貞子	人形衆	1979(昭和54)	キャンバス・油彩・額装	181.8×227.3
35	山脇佐久子	あるがままに'91-2(寄託品)	1991(平成 3)	キャンバス・油彩・額装	194.0×162.0
36	山脇佐久子	相對異化・2(寄託品)	1992(平成 4)	キャンバス・油彩・ミクストメディア・額装	162.0×194.0
37	山脇佐久子	位相・空間'95-1	1995(平成 7)	キャンバス・油彩・額装	162.0×194.0
38	山脇佐久子	拡張へ 98-1	1998(平成10)	キャンバス・油彩・額装	182.0×227.0
39	石田 黙	化石	1978(昭和53)	キャンバス・油彩・額装	162.1×162.0
40	石田 黙	白い静物 (1971年)	1971(昭和46)	キャンバス・油彩・額装	162.1×130.6
41	石田 黙	白い静物 (1974年)	1974(昭和49)	キャンバス・油彩・額装	97.0×130.6

iv. 2015コレクション展

第Ⅳ期 高橋 功 永遠からの振動

会期：2016（平成28）年1月22日（金）～4月10日（日）

第1展示室(6階)：高橋 功 永遠からの振動

第2展示室(6階)：山岳礼賛

第3展示室(6階)：秋田の祭り・行事

担当：奈良 香



第1展示室 高橋 功 永遠からの振動

No	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
1	高橋 功	自画像	1978 (昭和53)	油彩、紙	70.0×50.0
2	高橋 功	キリストの石膏像と道化師の仮面のある静物 【県立雄物川高等学校蔵】	1978 (昭和53)	油彩、板	99.7×69.7
3	高橋 功	うずまき	1996 (平成8)	油彩、合板・木	122.0×87.0×3.0
4	高橋 功	永遠からの振動(白)	1993 (平成5)	油彩、合板・木	92.0×110.0
5	高橋 功	X一青	1998 (平成10)	油彩、合板・木	65.0×55.0
6	高橋 功	今・ここに・I	1998 (平成10)	油彩、合板・木	70.0×69.0
7	高橋 功	情熱一赤	1998 (平成10)	油彩・アルミ、合板・木	84.9×56.5
8	高橋 功	X一白一II	1998 (平成10)	油彩・アルミ、合板・木	72.3×60.9
9	高橋 功	アバ【個人蔵】	1998 (平成10)	油彩、木	101.0×40.2
10	高橋 功	十字架／白(うす青)	2002 (平成14)	油彩、木	81.0×66.0
11	高橋 功	円と線一黄色	1998 (平成10)	油彩、鉄線(ピアノ線)・合板	65.0×40.7
12	高橋 功	コスモス・2	2004 (平成16)	油彩、木	54.8×51.0
13	高橋 功	コスモス・3	2004 (平成16)	油彩、木	54.9×51.0
14	高橋 功	キサカタに雲と稲妻／黄	2002 (平成14)	油彩、木	41.1×45.0
15	高橋 功	秋田の冬	2004 (平成16)	油彩、木	58.0×41.7

第2展示室 山岳礼賛

No	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
1	小田野直武	富嶽図	1770年代(安永年間)	絹本着色軸装	43.5×77.0
2	横山 大観	雲中富士(夏富士)	1920 (大正9)頃	紙本金地着色 2曲1双	各169.0×178.0
3	寺崎 廣業	白馬山八題(雲海曙色)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
4	寺崎 廣業	白馬山八題(山頭団雲)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
5	寺崎 廣業	白馬山八題(嶮峰群立)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
6	寺崎 廣業	白馬山八題(雪溪花苑)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
7	寺崎 廣業	白馬山八題(赭山残雪)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
8	寺崎 廣業	白馬山八題(斜山緑翠)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
9	寺崎 廣業	白馬山八題(緑陰溪湍)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
10	寺崎 廣業	白馬山八題(雪溪残月)	1917 (大正6)	紙本着色軸装	57.9×89.2
11	下村 観山	三保富士	1919 (大正8)	絹本金地着色 6曲1双	各167.0×370.0
12	平福 百穂	富嶽図	1925 (大正14)	紙本墨画淡彩軸装	255.0×139.8
13	結城 素明	春秋山水	—	絹本着色軸装	各126.0×46.0
14	小泉 淳作	春を待つ鳥海山・スケッチ	1995 (平成7)	木炭、紙	47.0×109.0
15	後藤 純男	秋田駒ヶ岳	1997 (平成9)	紙本着色額装	90.5×205.5
16	福田 豊四郎	金華山	1959 (昭和34)	紙本金地着色 4曲1隻	169.5×291.0

第3展示室 秋田の祭り・行事

No	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
1	勝平 得之	駒舞	1950 (昭和25)	木版、紙	36.0×99.5
2	勝平 得之	梵天奉納図	1931 (昭和6)	木版、紙	27.4×39.4
3	勝平 得之	秋田風俗十態・犬コ市	1936 (昭和11)	木版、紙	39.9×28.8
4	館岡 栗山	紫灯祭(なまはげ)	1967 (昭和42)	紙本着色額装	147.0×209.0
5	勝平 得之	雪むろ	1932 (昭和7)	木版、紙	29.3×39.6
6	勝平 得之	秋田風俗十態・雛売り	1937 (昭和12)	木版、紙	39.9×28.8
7	勝平 得之	たいまつ祭	1955 (昭和30)	木版、紙	39.4×133.9
8	勝平 得之	秋田風俗十態・鹿島流し	1938 (昭和13)	木版、紙	39.9×28.8
9	勝平 得之	秋田風俗十態・竿灯	1938 (昭和13)	木版、紙	39.9×28.8
10	館岡 栗山	竿灯	—	紙本着色額装	185.0×125.5
11	勝平 得之	七夕(湯沢)	1937 (昭和12)	木版、紙	36.7×51.4
12	勝平 得之	能代七夕祭	1956 (昭和31)	木版、紙	39.2×135.0
13	勝平 得之	番楽	1956 (昭和31)	木版、紙	48.0×62.0
14	勝平 得之	豊年盆踊(西馬音内)	1948 (昭和23)	木版、紙	40.0×127.0
15	勝平 得之	送り盆(横手)	1940 (昭和15)	木版、紙	59.0×86.2
16	勝平 得之	飾山囃子	1957 (昭和32)	木版、紙	46.7×61.6
17	勝平 得之	男鹿のナマハゲ	1962 (昭和37)	木版、紙	16.1×48.8

◇関連記事 広報かたかみ3月号、毎日新聞2/23、広報美郷お知らせ版3/15

教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。さらに「あきたセカンドスクール推進事業」における、美術館を第二の学校とした授業の一環として、学校の学習活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。

●キンビ・創作体験プログラム

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	アクリル画教室 「静物を描くⅡ」	5月24日(日) 5月30日(土) 5月31日(日)	中学生以上 一般15名	大須賀勉(画家・秋田美術作家協会会員)	全3日	各15名	木村 西野
II	型染め教室 「ランチョンマットをつくろう」	9月5日(土) 9月6日(日)	中学生以上 一般10名	森 香織(秋田公立美術大学 助教)	全2日	各6名	西野 藤井

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「スタンプはんがで楽しもう!」	7月12日(日)	未就学児(5歳以上)、 小学生 各回15名	藤井正輝(当館学芸主事)	90分 ×2	計29名	藤井 木村
II	「木でつくろう!森の動物たち」	8月2日(日)	小学生以上 一般15名	木村雅洋(当館学芸主事)	全1日	15名	木村 藤井
III	「粘土でマスコットキャラクターをつくろう!」	12月6日(日)	小学校高学年 以上一般15名	峯田敏郎(彫刻家)	全1日	16名	保泉 藤井

きっずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「どろどろアート」	6月7日(日)	未就学児(4~6歳) 各回15名	西野美佳(当館主任学芸主事)	90分 ×2	計52名	樫尾/木村 /藤井

展覧会にちなんだワークショップ

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	岩合光昭写真展ワークショップ 「大画面に描こう!」	5月3日(日)	幼児~一般 各回50名	木村雅洋(当館学芸主事)	90分 ×2	計40名	藤井/樫尾 /西野
II	岩合光昭写真展ワークショップ 「フェルト毛玉マスコットを作ろう!」	5月17日(日) 6月20日(土)	幼児~一般 各回30名	藤井正輝(当館学芸主事)	90分 ×2	計81名	樫尾/西野 /木村
III	魔法の美術館ワークショップ 「光の箱をつくろう」	8月9日(日)	小学生以上 一般各回25名	松村泰三(東北芸術工科大学准教授)	120分 ×2	計85名	西野/木村 /樫尾/藤井
IV	滝平二郎の世界展ワークショップ 「きりえワークショップ」	11月1日(日)	中学生以上 一般15名	奈良 香(当館学芸主事)	全1日	20名	奈良/鈴木
V	食~自然からの恵み~ ワークショップ 「米粉 de パンケーキ」	3月5日(土)	小学校高学年 以上一般16名	小野博美(農業科学館学芸主事)	全1日	15名	鈴木/保泉 /奈良

●美術館教室

I. アクリル画教室「静物を描くⅡ」

昨年に引き続き、洋画家の大須賀勉氏を講師にお招きしてアクリル画教室を開催した。F 4 サイズのパネルにキャンバスを貼りモデリングペーストで下地を作って、その上に果物などの静物を描いてゆく。乾きの早いアクリル絵の具での制作にあわせて、手軽で素早いぼかしの技法も紹介しつつ、前回よりもマチュールづくりに時間をかけた内容だった。今回初めてアクリル絵の具に触れた方も多かったが、3日間という短い制作時間の中でも丁寧に描き込んだ作品がたくさんできあがりそれぞれに満足のいく作品になったようだった。



II. 型染め教室「ランチョンマットをつくろう」

身近なものをモチーフに、本格的な型染めの技法でランチョンマットを制作する教室である。秋田公立美術大学森香織氏を講師にお迎えして開催した。1日目はデザイン・下絵、型彫り、型付け(糊置き)、地入れを、2日目は色作り、色差し(彩色)、アルカリ塗布(色定着)、水洗い・湯荒い、乾燥・仕上げの順で制作を行った。古くから伝わる材料や用具を用い、本格的な染めものの体験を行うことができた。



●みんなの教室

I. 「スタンプはんがで楽しもう！」

オリジナルのスタンプを制作し、紙に押ししてみようという内容の教室を行った。スタンプのベースとなる部分(貼れパネで作った約10cm四方の板で、取手のついたもの)を事前に作っておいたことで、参加者はインクのせや、スタンプ押しの作業をスムーズにおこなうことができた。また、材料や道具を最小限にしぼった説明と、「作る」「押す」に分けた実演で、手順をわかりやすく伝えることができた。対象は5歳以上としたが、2~4歳の子どもでも参加して楽しめる内容だった。



II. 木のクラフト教室「木でつくろう！森の動物たち」

いろいろな種類や色の木を組み合わせて加工して、動物の置物を作る教室を開催した。昨年度開催した「木によるオブジェづくり」と同様に、あらかじめ材料を色や形ごとに分け、適度な大きさや大まかな形に切断するなどの準備をした。胴体と頭や手足はボンドでの接着よりも、穴を開けて3~5mmの丸棒で連結するようにし、完成した後も角度を変えて動かしたりポーズを変更できるようにした。材料の選び方や制作の行程がシンプルで分かりやすかったためか、参加者もあまり迷うことなく作りたい形を決め、じっくりと制作に取り組んでいた。端材の中から見つけた形を、親子で話し合いながら動物の面白い形状に生かしていった作例も多く、子どもたちの発想の自由さに、こちらも学ぶことが多い教室だった。



Ⅲ. 粘土でマスコットキャラクターをつくろう！

峯田敏郎彫刻展の開催を記念し、彫刻をつくる楽しさを知ってもらうことを目的とした教室を開いた。ということで、内容は「粘土でマスコットキャラクターをつくろう！」である。講師は峯田敏郎氏ご本人。テーマは、家で飼っているペットや家族、果物・野菜など参加者が自由にイメージできるものとした。事前にテーマをお知らせしていたこともあり、参加者はスムーズに制作に入れたようだった。また、講師の的確な指導により、どの作品も参加者それぞれのアイディアを生かしたものとすることができた。今回の教室が、参加者にとって彫刻作品をより身近に感じるきっかけになったのなら幸いである。



●きっずあーと

Ⅰ. 「どろどろアート」

当館初の未就学児対象の教室で、手や指などに液体粘土を混ぜた絵の具を付け、大きな紙に全身で描くことを楽しむ活動を行った。午前と午後の2回の開催であったが、どちらも子どもの他、付き添いで来館した家族もみな一緒に楽しみながら活動していた。参加者は、絵の具の感触や表れ出た色の面白さを味わいながら実習室いっぱいにダイナミックな活動を繰り広げていた。



●展覧会にちなんだワークショップ

Ⅰ. 岩合光昭写真展ワークショップⅠ 「大画面に描こう！」

岩合光昭写真展ネコライオンの開催にあわせ、当館の5階中央ホールを会場に午前・午後2回に分けて、自由に参加できるお絵かきワークショップを開催した。ネコライオン展にちなみ、サバンナや屋根をイメージした8本の背景バナーを準備して、各自の好きな動物を大きな紙にクレパスで描き貼り付けていった。対象は幼児から一般までなので、親子連れで楽しく制作する参加者が多かった。出来あがった作品は展覧会の終了まで、5階展示室前の廊下に展示した。



Ⅱ. 岩合光昭写真展ワークショップⅡ 「フェルト毛玉マスコットを作ろう！」

フェルト毛玉に手を加えて完成させるオリジナルのマスコット作りを開催した。毛玉作りは職員が事前に行ったが、作るのに時間がかかる、羊毛のコストが高い等の面で課題を感じた。しかし、事前申込の必要がなく短時間でできる、幼児から参加できて手軽に作れる等のメリットがあり、親子連れや夫婦で楽しめる参加者が多かった。材料をバイキング形式で選ぶことでスムーズな流れを確保したり、カッターでの切り取り作業は職員が行うこととして安全管理に努めたりすることができた。twitterを見て参加した方もいて、SNSの有効性も感じた。



Ⅲ.魔法の美術館ワークショップ 「光の箱をつくろう」

東北芸術工科大学総合美術コース准教授の松村泰三氏を講師にお迎えして開催した。午前と午後の2回の開催であったが、どちらも中央ホールがいっぱいになるほどの盛況ぶりであった。内容は、光をミラーフィルムに反射させ、トレーシングペーパーに投影する光の箱の制作で、講師の松村氏が考案したものである。光をかざすと反射により様々な色が輝き、参加者はみな歓声をあげていた。



Ⅳ.滝平二郎の世界展ワークショップ 「きりえワークショップ」

「滝平二郎の世界展」にあわせ、初心者から気軽に参加できる「きりえワークショップ」を行った。制作に先立ち、参加者全員で展覧会を鑑賞し、手順や工夫点などを確認した。テーマは「秋」とし、身近な植物や風景などを題材に、下絵を描いてもらった。下絵に入る前に、基礎的な「切り」の練習を行ったため、どの程度の細やかさまで対応できるか、イメージがつかみやすかったと思う。仕上がった作品は色紙に貼ってもらい、自宅で手軽に飾れるように仕上げてもらった。「自分で作品を制作することによって、滝平二郎氏の作品をより深く味わうことができた」という感想が多く寄せられた。



Ⅴ.食 ～自然からの恵み～ワークショップ 「米粉 de パンケーキ」

「食～自然からの恵み～」の開催にちなみ、ワークショップとして秋田県産の米粉を使ったパンケーキ作りを行った。講師に農業科学館学芸主事をお迎えし、米粉の特徴や利点の講話、実際の調理をとおして、秋田県の主要農産物である米の利用法について理解を深める機会とした。また、今回は横手保健所の方のご協力もいただき、パンケーキの調理体験の前に手洗い講座も行った。手洗い前後の雑菌の繁殖状況などを数値で確認でき、安全な食づくりへの理解も深まる機会となった。



●ミュージアムコンサート

I 「トリオ・ドルチェ コンサート」

日 時 2015年5月10日（日）
1回目…午後1時30分～午後2時10分
2回目…午後3時00分～午後3時40分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 北嶋奏子〈ヴァイオリン〉
吉田妃呂子〈フルート〉
佐々木久美子〈ピアノ〉

演奏曲目 Leroy Anderson作曲「The Waltzing Cat」
Astor Piazzolla作曲「Libertango」
Gerardo Hernan Matos Rodriguez作曲「La Cumparsita」
作曲者不詳「Amazing Grace」
Vittorio Monti作曲「Csardas」 ほか

観覧者数 176人



II 「横手マンドリンクラブ コンサート」

日 時 2015年7月19日（日）
午前11時～午前12時

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 横手マンドリンクラブ

演奏曲目 P. Tchaikovsky 作曲「ワルツ バレエ音楽
『眠れる森の美女』第1幕より」
A. Cappelltti 作曲「マンドリン賛歌 フローラ」
C. Chaplin作曲「マンドリンセレナーデ 映画
『ニューヨークの王様』より」
中川信良編曲「スペイン名曲集」
米山正夫作曲「津軽のふるさと」 ほか

観覧者数 170人



III 「サクソス四重奏」

日 時 2015年8月30日（日）
1回目…午後1時30分～午後2時10分
2回目…午後3時00分～午後3時40分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 河道麻美子（ソプラノサクソ）
松橋由美子（アルトサクソ）
佐藤友子（テナーサクソ）
進藤真衣子（バリトンサクソ）

演奏曲目 ロバート・ロペス作曲「LET IT GO」
リチャード・カーペンター/ジョン・ベティス/アルバート・ハモンド作曲「青春の輝き」
葉加瀬太郎作曲「情熱大陸」
クリスティン・アンダーソン作曲「生まれてはじめて」
米山正夫作曲「リンゴ追分」
さだまさし作曲「秋桜」
小林亜星作曲「魔法使いサリー」
クラウス・バデルト作曲「彼こそが海賊」
ロバート・シャーマン作曲「スーパーカリフラジリスティックエキスピアリドゥーシャス」
村松崇継作曲「彼方の光」
和泉宏隆作曲「宝島」 ほか

観覧者数 464人



IV 「太田徹&The Catwalk Band コンサート」

日 時 2015年10月4日（日）
 1回目…午後1時30分～午後2時10分
 2回目…午後3時00分～午後3時40分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 太田徹〈ドラムス〉、石川真由子〈フルート〉、
 小野リカルド輪太郎〈ギター〉、本川洋之〈ウッドベース〉
 ゲスト：鈴木雄大〈トランペット〉

演奏曲目 Horace Silver作曲「SPLITKICK」
 Hoagy Carmichael作曲「SKYLARK」
 Leigh Harline作曲「When You Wish upon a Star」
 Vernon Duke作曲「AUTUMN IN NEW YORK」
 Paul Desmond作曲「TAKE FIVE」 ほか

観覧者数 225人



V 「秋田大学教員による声楽とピアノのコンサート」

日 時 2015年12月20日（日）
 午後1時30分～午後2時30分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 爲我井 壽一（テノール）
 斎藤 洋（ピアノ）

演奏曲目 ジョルダナーニ作曲「いとしいひとよ」
 トスティ作曲「最後の歌」
 ショパン作曲 エチュード ホ長調 作品10-3「別れの曲」
 ショパン作曲 ポロネーズ イ長調 作品40-1「軍隊」
 R. シューマン作曲「献呈」
 C. ヴィーク＝シューマン作曲「私はおぼろげな夢の中にいた」
 F. メンデルスゾーン＝ヘンゼル「夜のさすらい人」
 F. メンデルスゾーン＝ヘンゼル「歌の翼に」
 モンポウ作曲「歌と踊り」第4番、第5番、第6番

観覧者数 142人



VI 第17回あきたロシア音楽祭

「大山英子・土崎宏人 デュオ・リサイタル」

日 時 2016年2月14日（日）
 午後1時～午後2時

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 土崎宏人（バリトン）
 大山英子（ピアノ）

演奏曲目 ベーティーベン作曲「小暗き墓地で」
 ベーティーベン作曲「5月の歌」
 ベーティーベン作曲「ピアノ ソナタ」
 第31番Op.110第1楽章、第2楽章
 平井康三郎作曲「ふるさとの」
 滝廉太郎作曲「荒城の月」
 服部正作曲「野の羊」
 ピアソラ作曲「タンゴ組曲より」
 ロシア民謡「ステンカ・ラージン」
 ロシア民謡「黒い瞳」

観覧者数 128人



●美術館講座・美術講演

◇美術館講座「名誉館長講座」－江戸時代の美術・後期－

講師：河野元昭名誉館長

登録受講者数 53名（6F 研修室）

5月23日（土） 谷 文晁 受講者数53名

美術の鑑賞と理解を深めるために、河野元昭名誉館長が美術館講座として「江戸時代の美術(後期)」を実施。

◇県生涯学習センター（美の国アクティブ連携講座）

明快！Artゼミ

全3回、延べ受講者数 62名

① 7月 3日（金） 「滝平二郎 作品の魅力－木版画・きりえ・絵本原画－」 奈良香学芸主事

② 8月 2日（日） 「所蔵作品にみる中国」 鈴木京学芸主事

③ 9月11日（金） 「彫刻家 峯田敏郎」 保泉充主任学芸主事

◇先生のための美術館講座「美術館 まるごと活用術！」

開催日：10月25日（日）

会 場：秋田県立近代美術館 5階ハイビジョンギャラリー、
ふれんどリーギャラリー、1階実習室等

受講者：16名

小・中・高等学校や特別支援の先生方に当館を楽しく活用していただくための研修講座である。今年度は、特別展「滝平二郎の世界展」鑑賞と関連の講話、当館の“ふれんどリーギャラリー”展示事業の紹介やワークショップ「子どものための彫刻鑑賞」を行った。



秋田県立近代美術館
先生のための美術館講座

**美術館
まるごと
活用術！**

小・中・高等学校や特別支援学校の先生方に秋田県立近代美術館を楽しく活用していただくための研修講座です。
今年度は、特別展「滝平二郎の世界展」の鑑賞と関連の講話、当館の学校連携事業の紹介やワークショップを行います。国工・美術科をご担当の先生方をはじめ、様々な先生方のご参加をお待ちしております。

■期 日
平成27年10月25日（日）10:00～14:30

■対 象
小・中・高等学校及び特別支援学校の美術科、国工・美術科の先生方、芸術系第二職業者

■会 場
秋田県立近代美術館5階ハイビジョンギャラリー、ふれんどリーギャラリー等

■日 程
9:45～10:00 受付（受付済後、鑑賞できます）
10:00～10:20 特別展「滝平二郎の世界展」鑑賞
10:30～11:30 講話「滝平二郎 作品の魅力」 講師：学芸員主事
11:30～12:00 ふれんどリーギャラリー見学
昼食・休憩
13:30～14:30 ワークショップ「子どものための彫刻鑑賞」

■参 加 費
0円

■申込み
①申込（申込・所属）②鑑賞権利 申込書（FAX）のいずれかで申し込み。
申込期間：10月6日（水）～10月24日（金）
※参加料無料 名札の提示で参加の権利ができます。
※受付後、当日より封筒で申込書を提出いただけます。

秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字宮ノ下62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858

●出前美術館・出前美術展

出前美術館 ～Artが学校にやってきた～

主 催：秋田県立近代美術館

共 催：小坂町教育委員会、上小阿仁村教育委員会

会 場：小坂町立小坂小学校・中学校 会 期：2015(平成27)年9月 2日(水)～9月 7日(月)

会 場：上小阿仁村立上小阿仁小中学校 会 期：2015(平成27)年9月10日(木)～9月14日(月)

担 当：三浦直、樫尾康子、藤井正輝

作品数：50点（日本画9、洋画14、版画11、工芸3、書道2、彫刻7、スケッチ4）

参加者（児童・生徒・教員・一般）：1,090人（内訳 小坂712名、上小阿仁378名）

芸術作品の鑑賞体験がどこの学校でもできるようにと、来館が難しい地域の学校に出向いて実施している展覧会である。11年目を迎えた今年度は、小坂町立小坂小学校・中学校と上小阿仁小中学校の2カ所で計11日間開催した。

小坂小学校・中学校では、子ども学芸員を募集し、土日に子ども学芸員の活躍する場面を設定してくれた。自分なりの感想を交えながら一生懸命作品を紹介する姿に、来校者は大喜びだった。また、受付業務や子ども学芸員への支援など教育委員会からの協力があり、ありがたかった。上小阿仁小中学校では5年生から中学3年生までの児童生徒が子ども学芸員として期間中、毎日、交替しながら活動した。広い展示スペースや展示壁があったので、来校者は作品をゆっくり鑑賞することができたようだ。教育委員会からは、学校への道順を示した看板を作成してもらった。上小阿仁プロジェクトの開催と重なったこともあり、そこから出前美術館に足を運んでくれる人もいた。



会場：小坂小学校・中学校



会場：上小阿仁小中学校

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横cm）
1	福田豊四郎	平原	1969(昭44)	紙本着色	52.2× 69.2
2	福田豊四郎	愛	1952(昭27)	紙本着色	65.0× 91.2
3	福田豊四郎	冬山小景	—	紙本着色軸装	135.0× 33.0
4	福田豊四郎	霜秋	—	絹本着色軸装	131.1× 36.3
5	平福 百穂	磯千鳥	—	紙本墨画淡彩軸装	130.0× 32.5
6	横山 津恵	浜えんどう	—	紙本着色	53.0× 45.5
※小坂小学校・中学校会場					
		風の声	1988(昭63)	紙本着色	91.0× 60.6
※上小阿仁小中学校会場					
7	横山 津恵	花を持つ	1987(昭62)	紙本着色	53.0× 45.5
※小坂小学校・中学校会場					
		花籠	1990(平 2)	紙本着色	88.5×102.5
※上小阿仁小中学校会場					
8	奈良 裕功	シオカラトンボ(塩辛蜻蛉)	1920(大 9)	紙本墨画着色	24.2× 32.7

9	奈良 裕功	トラフズク (虎斑木菟)	1932 (昭 7)	紙本墨画着色	33.7× 24.6
10	奈良 裕功	クビキリギス (首蝨斯)	1934 (昭 9)	紙本墨画着色	28.2× 40.1
11	奈良 裕功	ヤマメ (山女魚)	1935 (昭 10)	鉛筆・顔彩/紙	36.5× 27.0
12	伊藤 弥太	作品	1965 (昭 40)	油彩/キャンバス	100.0× 80.3
13	伊藤 博次	遊翔	1993 (平 5)	油彩/キャンバス	162.0× 80.3
14	伊藤 康夫	ARCADIA (鳩を追う)	1992 (平 4)	油彩/キャンバス	193.0× 162.0
15	紺野 五郎	若い人	1983 (昭 58)	油彩/キャンバス	162.0× 130.0
16	金子 義償	水景	1996 (平 8)	油彩/キャンバス	130.3× 162.1
17	三浦 明範	BREAKFAST	1991 (平 3)	油彩・テンペラ/キャンバス	193.3× 162.2
18	大原 省三	立像	1981 (昭 56)	油彩/キャンバス	162.0× 112.0
19	渋谷 重弘	野を盛る	1995 (平 7)	油彩/キャンバス	72.8× 91.0
20	斎藤 昇	ワンダーランドⅡ	1989 (平 元)	油彩/キャンバス	112.1× 145.5
21	池内 茂吉	萌	1989 (平 元)	油彩/キャンバス	130.3× 162.1
22	馬場 彬	有限的眺望 A	1983 (昭 58)	油彩/キャンバス	130.3× 162.0
23	檜尾 直	ある風景' 95 I	1995 (平 7)	油彩/キャンバス	162.1× 112.1
24	加藤 貞子	人形衆Ⅵ	1979 (昭 54)	油彩/キャンバス	181.8× 227.3
25	藤井 勉	フリージア	1983 (昭 58)	油彩/キャンバス	90.9× 116.5
26	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉いろり	1939 (昭 14)	木版/紙	29.0× 40.4
27	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉かまど	1939 (昭 14)	木版/紙	29.0× 40.4
28	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉うまや	1940 (昭 15)	木版/紙	29.0× 40.4
29	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉ドック	1940 (昭 15)	木版/紙	29.0× 40.4
30	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉リンゴ	1940 (昭 15)	木版/紙	29.0× 40.4
31	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉はり	1941 (昭 16)	木版/紙	29.0× 40.4
32	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉まゆだま	1941 (昭 16)	木版/紙	29.0× 40.4
33	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉ささまき	1942 (昭 17)	木版/紙	29.0× 40.4
34	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉みづき	1943 (昭 18)	木版/紙	29.0× 40.4
35	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉かきだて	1943 (昭 18)	木版/紙	29.0× 40.4
36	藤田 嗣治	猫を抱く少女	—	リトグラフ/紙	54.0× 32.0
37	関谷 四郎	黒銅金彩花瓶	1980 (昭 55)	鍛金・鍍金・黒銅・金	径20.5× 高20.5
38	関谷 四郎	銅鉄接合花瓶	1983 (昭 58)	接合・鍛金・鍍金・銅・鉄・金	高19.0× 27.3× 27.3
39	佐々木 英	蒔絵箱「月歌」	1979 (昭 54)	桐・夜光切貝研出蒔絵	高13.0× 10.0× 20.0
40	松井 如流	究	1974 (昭 49)	墨/紙	97.0× 91.0
41	松井 如流	虹	1971 (昭 46)	墨/紙	70.0× 70.0

「さわる」 (彫刻) やさしくさわってね！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横 cm)
42	高田 博厚	ロマン・ロラン夫人	1932 (昭 7)	ブロンズ	25.0× 17.0× 15.5
43	高田 博厚	小さなトルソ	1961 (昭 36)	ブロンズ	24.5× 11.5× 8.5
44	高田 博厚	マハトマ・ガンデ 1	1960 (昭 35)	ブロンズ	26.5× 23.5× 23.5
45	佐藤 忠良	常磐の大工	1956 (昭 31)	ブロンズ	22.5× 16.0× 24.0
46	舟越 保武	A N N	1983 (昭 58)	ブロンズ	32.0× 19.0× 25.0
47	相川善一郎	墓守	—	ブロンズ	39.0× 28.0× 22.0
48	松田 芳雄	ふくろう	2008 (平 20)	ブロンズ	60.0× 85.0× 50.0

「あそぶ」 (木のオブジェ) なかよくあそんでね！ あとかたづけもね！

No.	作家名	作品名
49	杉山 明博	何ができるかな？ 円形を用いた自在具
50	—	木の砂場

出前美術展 ～ARTがエナジウムパークにやってきた～ 「近美洋画セレクション」

会 期：2015(平成27)年8月6日(木)～8月16日(日)

主 催：東北電力(株) 能代エナジウムパーク

秋田県立近代美術館

会 場：能代エナジウムパーク カルチャーホール

担 当：三浦直、樫尾康子

作品数：30点(伊藤博次他洋画作品)

入場者(一般)：4,521名

洋画作品30点を展示した。お盆の時期で訪れる人が多かった。また、エナジウムパーク職員がクイズを作成し、親子連れで展覧会を楽しめるような工夫をしてくれた。昨年に引き続きギャラリートークを実施(8/15)。グループで来館した方から解説を頼まれることもあり、じっくり作品を楽しむ様子が見られた。



No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	一木 稔	阿蘇暮色	—	油彩/キャンバス	45.5 × 60.6
2	一木 稔	銀座暮色	1935(昭10)	油彩/キャンバス	53.0 × 41.0
3	一木 稔	夏	1964(昭39)	油彩/キャンバス	45.5 × 53.2
4	伊藤 博次	砂丘	1958(昭33)	油彩/キャンバス	50.5 × 100.0
5	伊藤 博次	折れた葦… I	1984(昭59)	油彩/キャンバス	100.0 × 100.0
6	伊藤 博次	晩夏(雄物川)	1978(昭53)	油彩/キャンバス	89.4 × 130.3
7	伊藤 博次	北の岬… 6月	1989(平元)	油彩/キャンバス	89.4 × 145.5
8	伊藤 弥太	作品	1965(昭40)	油彩/キャンバス	100.0 × 80.3
9	伊藤 弥太	象潟の初夏	1969(昭44)	油彩/キャンバス	112.5 × 162.1
10	内田 慎蔵	枯れ葉一葉	1975(昭50)	油彩/キャンバス	90.7 × 116.7
11	小関 利雄	天の岩戸	1979(昭54)	油彩/キャンバス	90.9 × 116.7
12	金沢秀之助	雪のポンヌッフ橋	—	油彩/キャンバス	24.1 × 33.2
13	金沢秀之助	奈良公園にて	1967(昭42)	油彩/キャンバス	53.0 × 65.2
14	金沢秀之助	熱国の春(壁画習作)	—	油彩/キャンバス	72.7 × 90.9
15	金沢秀之助	布良海岸	—	油彩/キャンバス	38.0 × 45.0
16	河村千代三	あさ影	1956(昭31)	油彩/キャンバス	91.0 × 72.8
17	草薙 隆	牛 B	1968(昭43)	油彩/キャンバス	91.0 × 120.0
18	小西正太郎	ピンク色の舞妓	1924(大13)	油彩/キャンバス	72.7 × 60.7
19	近藤 良悦	男鹿岩図	—	油彩/キャンバス	53.0 × 45.5
20	佐々木宗一郎	鳥居峠	1973(昭48)	油彩/キャンバス	31.8 × 41.0
21	佐藤 文雄	白い花	1976(昭51)	油彩/キャンバス	45.5 × 53.0
22	佐藤雄治郎	下浜風景	1964(昭39)	油彩/キャンバス	80.3 × 116.7
23	佐藤 義雄	スペイン風コスチューム	—	油彩/キャンバス	72.7 × 60.6
24	佐藤 義雄	自画像	1935(昭10)頃	油彩/キャンバス	41.0 × 31.8
25	渋谷 重弘	野を盛る	1995(平 7)	油彩/キャンバス	72.8 × 91.0
26	田宮 進	風車のある風景	1964(昭39)	油彩/キャンバス	80.5 × 100.0
27	秩父 和平	鏡の前の少女	1953(昭28)	油彩/キャンバス	61.5 × 50.8
28	奈良清四郎	大地(母子像)	1986(昭61)	油彩/キャンバス	52.9 × 65.3
29	みのわ 淳	たちのぼる光彩	2004(平16)	アクリル/キャンバス	100.6 × 50.5
30	渡辺喜久蔵	北国瞬晴	1967(昭42)	油彩/キャンバス	112.0 × 145.5

●ネットワーク推進事業（共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館）

ネットワーク事業 第1期 画家たちの残した記録

会 場：秋田県立図書館 2階特別展示室

会 期：2015(平成27)年9月28日(月)～10月25日(日)

27日間（休館日10月7日）

展示作品：当館所蔵作品から秋田を代表する日本画家・福田豊四郎、奈良裕功、高橋萬年、横山津恵らの写生22点を、あわせて県立図書館が所蔵する関連資料を展示。

ギャラリートーク：10月4日(日)①11:00～11:30 ②14:00～14:30（担当：藤井）

担 当：三浦 直・藤井正輝

入場者数：2,449名



◇関連記事

秋田ケーブルテレビ 10/23

No	作家名	作品名	制作年月日	材質・技法	寸法 (cm)
1	奈良 裕功	八重桜	1910(明治43)頃4/23	紙本墨画着色	42.8×32.1
2	奈良 裕功	ダリア	1914(大正 3) 10/29	紙本墨画着色	26.0×37.0
3	奈良 裕功	炭焼小屋	1928(昭和 3)5/31、6/1	紙・鉛筆、顔彩	38.0×58.7
4	奈良 裕功	虫狩	1928(昭和 3) 10/23	紙・鉛筆、顔彩	28.0×36.9
5	奈良 裕功	尉鶺 (ジョウビタキ)	1929(昭和 4) 12/ 7	紙・鉛筆	20.9×33.2
6	奈良 裕功	菊、トンボ	1914(大正 3) 11/22	紙本墨画着色	26.0×37.0
7	福田豊四郎	自画像	1922(大正11) 5/ 9	色鉛筆、紙	22.5×17.3
8	福田豊四郎	鮎	1925(大正14) 10/ 3	鉛筆・水彩、紙	27.5×38.6
9	福田豊四郎	アカトンボ	1940(昭和15) 9/24	鉛筆・水彩、紙	14.3×37.2
10	福田豊四郎	次男春土の肖像	1944(昭和19) 1/28	鉛筆・水彩、紙	29.3×20.4
11	福田豊四郎	ザクロ	1962(昭和37) 10/22	鉛筆・水彩、紙	31.8×47.0
12	高橋 萬年	鮎	— 7/11	鉛筆・色鉛筆・水彩、紙	55.0×38.0
13	高橋 萬年	田植	1938(昭和13)	鉛筆・水彩、紙	右上から時計回りに 24.0×33.0、 24.0×31.0、 23.5×30.0、 31.0×23.5
14	高橋 萬年	菊	—	鉛筆・水彩、紙	55.0×38.0
15	横山 津恵	裸婦	1956(昭和31) 10/ 1	鉛筆、紙	35.5×24.5
16	横山 津恵	裸婦	1956(昭和31) 9/28	鉛筆、紙	35.5×24.5
17	横山 津恵	畦スケッチ	1957(昭和32) 5/18	鉛筆・水彩、紙	35.5×24.5
18	横山 津恵	畦スケッチ	1957(昭和32) 5/19	鉛筆・水彩、紙	35.5×24.5
19	横山 津恵	犬コ市エスキース	1965(昭和40)	鉛筆・色鉛筆・ペン、紙	37.5×45.0
20	横山 津恵	裸婦群像	1969(昭和44)	鉛筆・パステル、紙	45.0×75.0
21	横山 津恵	裸婦涅槃(らふねはん)	1978(昭和53)	鉛筆・パステル・水彩、紙	24.0×33.0
22	高橋 萬年	花	1954(昭和29) 7/13	鉛筆・色鉛筆・水彩、紙	55.0×76.0

○関連資料（秋田県立図書館所蔵）

『福田豊四郎画集』

『福田豊四郎素描集』

『特別企画展 描かれた秋田展 図録』

『週刊朝日百科 美術館を楽しむ No.23 秋田県立近代美術館』

『郷土人短冊帖二』

『特別企画展 風薫る 花香る ヴィーナスたち 横山津恵展 図録』

『横山津恵画集 燈燐ふたたび』 他

ネットワーク事業 第2期 秋田の工芸 その技と美

会 場：秋田県立図書館 2階特別展示室

会 期：2015(平成27)年12月11日(金)～2016(平成28)年1月31日(日)

49日間(休館日12月28日～1月3日、1月6日)

展示作品：当館所蔵作品から、関谷四郎・佐々木英・古関六平の作品18点と、
図書館で所蔵する書籍などの資料を展示。

ギャラリートーク：1月16日(土)①11:00～11:30 ②14:00～14:30(担当：木村)

担 当：三浦 直・木村雅洋

入場者数：3,768名



番号	作者名	作品名	制作年	形状	寸法(cm)	備考(展覧会名等)
1	佐々木 英	笥蒔絵平棗	1982(昭和57)	櫛・螺鈿・研出蒔絵	径7.8×高5.5	1982年第22回伝統工芸新作展
2	佐々木 英	刈田図蒔絵中次	1982(昭和57)	桜・彩切貝・研出蒔絵	径6.6×高7.0	—
3	佐々木 英	彩切貝ぶどう文線文雪吹	1984(昭和59)	桜・彩切貝	径7.3×高7.8	1985年佐々木英漆芸遺作展
4	佐々木 英	蒔絵飾箱「海麗」	1974(昭和49)	桐・玉虫貝・研出蒔絵	10.0×20.0×高13.0	1974年第21回日本伝統工芸展
5	佐々木 英	蒔絵飾箱「萌春」	1977(昭和52)	桐・彩切貝・研出蒔絵	11.0×22.0×高16.0	1977年第24回日本伝統工芸展
6	佐々木 英	蒔絵箱「月歌」	1979(昭和54)	桐・夜光切貝・研出蒔絵	10.0×20.0×高13.0	1979年第19回伝統工芸新作展
7	佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	銅・キハダ・彩切貝	径15.5×高20.0	1978年第25回日本伝統工芸展
8	古関 六平	恵存	1983(昭和58)	ケミカルウッド・漆	46.0×46.0×高28.0	1983年第22回日本現代工芸美術展
9	古関 六平	散華聴来	1988(昭和63)	ケミカルウッド・漆	33.0×22.0×高51.0	1988年第20回日展
10	古関 六平	蒼穹への誘い'99	1999(平成11)	ケミカルウッド・夜光貝・白鳥貝	50.0×22.5×高45.0	1999年第31回日展
11	関谷 四郎	接合横線壺	1968(昭和43)	接合・鍛金・鍍金・鉄・銅・金	径20.0×高20.0	1968年第15回日本伝統工芸展
12	関谷 四郎	銅鉄接合花瓶	1983(昭和58)	接合・鍛金・鍍金・銅・鉄・金	27.3×27.3×高19.0	1983年第38回新匠工芸展京都展
13	関谷 四郎	銀打出釜	1985(昭和60)	鍛金・鍍金・銀・金	径22.5×高18.5	1987年傘寿記念人間国宝関谷四郎展
14	関谷 四郎	黒銅金彩花瓶	1980(昭和55)	鍛金・鍍金・黒銅・金	径20.5×高20.5	1980年第10回伝統工芸日本金工展
15	関谷 四郎	金彩壺	1983(昭和58)	鍛金・鍍金・銅・金	径18.8×高25.0	1983年第38回新匠工芸展京都展
16	関谷 四郎	壺	1984(昭和59)	鍛金・鍍金・銀・金	径21.0×高35.0	1984年第31回日本伝統工芸展
17	関谷 四郎	花器(ばら文花器)	1985(昭和60)	鍛金・鍍金・銅・金・漆	21.5×15.1×高29.5	1985年第40回新匠工芸展京都展
18	関谷 四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭和58)	接合・鍛金・鍍金・赤銅・銀・銅・金	径30.0×高7.0	1983年第30回日本伝統工芸展

資 料

番号	著者名	書名	出版年	出版元	所蔵先
1	関谷四郎／作	傘寿記念人間国宝関谷四郎展	1987(昭和62)	関谷四郎発行所	秋田県立図書館
2	関谷四郎／作	関谷四郎作品集	1987(昭和62)	アロー・アート・ワークス	秋田県立図書館
3	秋田市立赤れんが郷土館／編	人間国宝関谷四郎記念室所蔵作品集	1997(平成 9)	秋田市立赤れんが郷土館	秋田県立図書館
4	秋田市立赤れんが郷土館／編	秋田の金属工芸	1999(平成11)	秋田市立赤れんが郷土館	秋田県立図書館
5	佐々木房子／編	佐々木英漆芸遺作展	1985(昭和60)		秋田県立図書館
6	秋田市美術館／編	佐々木英漆芸遺作展	1986(昭和61)	秋田市美術館	秋田県立図書館
7	秋田魁新報夕刊記事より	佐々木英「漆芸遺作展」から	1986(昭和61)	秋田魁新報社(夕刊記事)	秋田県立図書館
8	佐々木 英／著	漆芸の伝統技法	1986(昭和61)	オーム社	秋田県立図書館
9	古関六平／作	彩漆と蒔絵 古関六平漆芸展	1991(平成 3)	川嶋印刷株式会社	秋田県立近代美術館

● “ふれんどリーギャラリー”を活用した学校による展示事業

県内の小・中・高等学校、特別支援の学校を対象に、「子どもたちの活躍の場として」「多様な鑑賞体験の場として」「美術教育の取組を交流する場として」美術館に子どもたちの作品などを展示する事業である。

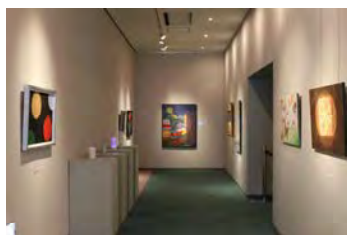
利用団体名・開催日



秋田県立稲川養護学校
平成27年12月16日(水)～12月27日(日)



仙北市立生保内中学校
平成28年 1月 5日(火)～ 1月24日(日)



大仙市立南外中学校
平成28年 1月26日(火)～ 2月14日(日)



横手市立横手南中学校
平成28年 2月21日(日)～ 3月19日(土)



●美術館のセカンドスクールの利用

◇ 概 況

	セカンドスクールの利用											総利用 学校数	総利用 人 数	
	幼・保園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		その他			
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	団体数			(人数)
4月	0	(0)	0	(0)	1	(125)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	125
5月	0	(0)	11	(429)	4	(453)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	15	882
6月	0	(0)	13	(411)	2	(12)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	15	423
7月	0	(0)	24	(795)	7	(151)	1	(41)	3	(6)	0	(0)	35	993
8月	1	(24)	10	(315)	4	(12)	0	(0)	0	(0)	1	(5)	16	356
9月	0	(0)	18	(749)	7	(157)	1	(26)	1	(5)	1	(16)	28	953
10月	0	(0)	11	(412)	4	(206)	1	(34)	1	(43)	0	(0)	17	695
11月	1	(22)	10	(365)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	11	387
12月	0	(0)	5	(258)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	258
1月	0	(0)	1	(72)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	72
2月	1	(44)	1	(40)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	84
3月	0	(0)	1	(51)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	51
小計 合計	3園 (90人)		105校(3,897人)		29校(1,116人)		3校(101人)		5校 (54人)		2団体 (21人)		園・校・団体*のべ数	5,279人
	145校 (5,258人)											147		
平成26年度	125校 (3,677人)												125	3,677人
平成25年度	108校 (4,254人)												108	4,254人
平成24年度	111校 (4,931人)												111	4,931人
平成23年度	129校 (6,131人)												129	6,131人

◇ 利用校

平成27年度セカンドスクール利用校一覧				
小坂小学校	横堀小学校	吉田小学校	三輪小学校	三輪中学校
長木小学校	豊川小学校	醍醐小学校	田代小学校	羽後中学校
上小阿仁小学校	中仙小学校	大森小学校	羽後明成小学校	矢巾中学校
港北小学校	太田南小学校	十文字第一小学校	仙道小学校	矢巾北中学校
御野場小学校	太田東小学校	十文字第二小学校	東成瀬小学校	若柳中学校
子吉小学校	太田北小学校	植田小学校	小坂中学校	岩沼西中学校
小友小学校	六郷小学校	睦合小学校	上小阿仁中学校	中野中学校
石沢小学校	千畑小学校	山内小学校	将軍野中学校	西目高校
岩谷小学校	仙南小学校	大雄小学校	土崎中学校	湯沢翔北高校
西目小学校	横手南小学校	湯沢西小学校	東由利中学校	宮城野高校
大曲小学校	朝倉小学校	湯沢東小学校	西仙北中学校	秋大付属特別支援学校
花館小学校	旭小学校	須川小学校	南外中学校	大曲養護学校
大川西根小学校	栄小学校	稲庭小学校	横手南中学校	稲川養護学校
藤木小学校	境町小学校	三梨小学校	十文字中学校	こひつじ幼稚園
四ッ谷小学校	黒川小学校	川連小学校	平鹿中学校	十文字保育所
角間川小学校	金沢小学校	駒形小学校	山内中学校	大仙市フレッシュ広場
神岡小学校	増田小学校	雄勝小学校	湯沢北中学校	横手市南かがやき教室
清水小学校	浅舞小学校	西馬音内小学校	山田中学校	
※部活動等での利用 中学校8校、高等学校2校、特別支援学校1校 計11校 309人				

◇ 利用の位置付け（教科等）

・図画工作科、美術科、生活科、社会科等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

◇ 内 容

- ・鑑賞体験…特別展、企画展、コレクション展、館内外の彫刻作品、「美術館」探検
- ・制作体験…水彩画、墨と顔彩、版画、大画面、土粘土づくり、企画展と関連した制作 等
- ・探究・職業体験…インタビュー活動、職場体験学習、インターンシップ 等

◇ キンビ・アートカード 利用数

・小学校1校、中学校2校、総合教育センター、南教育事務所、北教育事務所 計7団体(45セット)

●博物館実習

期間：2015(平成27)年9月23(水)～28日(月) 6日間

実習生所属大学及び人数

秋田公立美術大学 1名 弘前大学 1名 計2名 ※同期間中に大学インターンシップ 山形大学 1名

◆実習内容

期日	実習内容
9月23日(水)	オリエンテーション、ギャラリートークに関する実習、収蔵品の展示に関する実習1(展示作業の流れ、作品ラベル作成)
9月24日(木)	教育普及事業に関する実習2(鑑賞活動)、ギャラリートークに関する実習(作品・作家調査)
9月25日(金)	ワークショップ準備、ギャラリートークに関する実習(トーク練習等)
9月26日(土)	受付・監視業務、収蔵品の展示に関する実習(作品撮影)
9月27日(日)	ギャラリートーク実習、作品の保存と修復に関する実習(掛け軸作品の取り扱い)
9月28日(月)	新聞資料等整理、実習反省会・資料のまとめ

●美術館ボランティア (AMC ‘アムック’ Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員と AMC 役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。

◆会員数・活動内容

1 会員数 76名(3月1日現在)

2 活動内容

① 展示室活動・案内活動

- i 館内案内、誘導(館内各施設、順路ほか)
 - ・身障者、老人、子供対応
 - ・団体の整理、誘導

ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動

iii 資料配付(リーフレット、作品解説チラシほか)

iv 質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

i 印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)

ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

i ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)

ii 館蔵作品の調査研究等(図書資料室)

iii 鑑賞学習会(ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

④ その他の活動

i ふるさと村内でのPR活動(展覧会・付帯事業)

ii ミュージアムコンサート等の手伝い

iii 講演会準備の手伝い

iv 野外彫刻の清掃

v 印刷物(AMC通信など)の作成・発行

◆おもな関連行事

① 鑑賞学習会(特別展4本、企画展1本、コレクション展4本で各1～2回)

② 役員会(13回)

③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加

④ 交流会(6/21、1/24)

⑤ 研修旅行(9/6 出前美術館【小坂町立小・中学校】、郷土館【小坂町立総合博物館】、康楽館、小坂鉦山事務所)

⑥ 新会員オリエンテーション(随時)

⑦ 総会(3/6)

収集事業

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

●美術品収集

◆美術品等収集状況(平成27年度末まで)

※平成27年度末に種別・写真登録数の訂正を行った。

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管換	合 計
秋 田 蘭 画	6	0	1	5	12
東 洋 画	0	0	1	1	2
日 本 画	219	31	185	180	615
洋 画	51	147	191	73	462
版 画	11	60	285	67	423
水 彩 画	0	1	9	0	10
彫 刻	121	12	67	4	204
工 芸	29	0	9	1	39
書	13	7	208	2	230
デ ザ イ ン	0	0	2	6	8
写 真	3	0	214	0	217
素描・下絵等	21	0	167	7	195
国内その他資料	5	0	120	5	130
外 国 版 画	0	0	0	2	2
外 国 彫 刻	7	0	0	1	8
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合 計	487	258	1,461	354	2,560

◆2015(平成27)年度収集

種 別	県美術品取得基金	寄 贈	他施設から所管換	合 計
日 本 画	0	4	0	4
洋 画	0	14	0	14
彫 刻	0	13	0	13
素描・下絵等	0	37	0	37
合 計	0	68	0	68

寄贈による収集

No	種 別	作 者	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	松本 勝	椿	—	紙本着色	150.0×194.5
2	日本画	村野 深秋	つどひ	—	紙本着色額装	164.0×195.0
3	日本画	平福 穂庵	陶 淵明	1867	紙本墨画軸装	121.0×51.0
4	日本画	奈良 裕功	奏楽図	1942	襖絵	166.0×105.0(4点)、 166.0× 84.0(4点)
5	洋画	斎藤 寅彦	蒼園一Ⅱ	1982	油彩	162.0×194.0
6	洋画	斎藤 寅彦	時の跡2002年3月31日	2002	油彩	181.8×227.3
7	洋画	斎藤 寅彦	印旛沼(春)	2005	鉛筆、紙	36.5×51.5 パネル4枚組
8	洋画	斎藤 寅彦	時の跡2005	2005	油彩、テンペラ	227.3×162.0
9	洋画	斎藤 寅彦	時の跡[繋ぐ]	2007	油彩、テンペラ	162.0×130.3
10	洋画	斎藤 寅彦	時の跡—繋ぐⅢ	2008	油彩、テンペラ	227.3×162.0
11	洋画	斎藤 寅彦	時の跡(繋ぐ'09)	2009	油彩、テンペラ、アキーラ	162.0×227.3
12	洋画	斎藤 寅彦	蛸壺	2010	油彩、アキーラ	変形30号

13	洋画	斎藤 寅彦	時の跡・流木	2011	油彩	72.7×60.6
14	洋画	斎藤 寅彦	時の跡・イソヒヨドリ	2012	油彩、アキーラ	116.7×91.0
15	洋画	斎藤 寅彦	時の跡' 12	2012	油彩、テンペラ、アキーラ	162.0×227.3
16	洋画	斎藤 寅彦	野（山百合）	2012	墨、紙	116.7×80.3
17	洋画	斎藤 寅彦	野（野菊）	2012	墨、紙	116.7×72.7
18	洋画	斎藤 寅彦	時の跡2013	2013	油彩、アキーラ	227.3×162.0
19	彫刻	峯田 敏郎	ポーズする女	1969	FRP	180.0×55.0×56.0
20	彫刻	峯田 敏郎	腕組みの女	1969	木	95.0×25.0×22.0
21	彫刻	峯田 敏郎	ひげの学生	1970	石膏	45.0×25.0×27.0
22	彫刻	峯田 敏郎	唄う女	1972	FRP	120.0×36.0×20.0
23	彫刻	峯田 敏郎	北国	1975	ブロンズ	28.0×22.0×22.0
24	彫刻	峯田 敏郎	由比ヶ浜の夏	1976	ブロンズ	55.0×20.0×12.0
25	彫刻	峯田 敏郎	手形学園町	1978	石膏	30.0×24.0×27.0
26	彫刻	峯田 敏郎	おんなー沖縄ー	1991	テラコッタ	66.0×40.0×25.0
27	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影ーいつもの海ー	1994	ブロンズ、紅松	80.0×80.0×30.0
28	彫刻	峯田 敏郎	おんなー鈴鹿ー	1997	テラコッタ	66.0×40.0×20.0
29	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影ー女優Cー	2002	樟	50.0×30.0×25.0
30	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影ー遠い日の風音・私のふるさとー	2013	桂・真鍮	170.0×110.0×90.0
31	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影ーそれぞれの日常ー	2014	樟・彩色	60.0×100.0×60.0
32	素描	峯田 敏郎	唄う女	1972	紙、鉛筆	36.2×26.0
33	素描	峯田 敏郎	ー	1973	紙・鉛筆	37.3×26.6
34	素描	峯田 敏郎	ー	1977	紙、色鉛筆	36.6×28.3
35	素描	峯田 敏郎	ー	ー	紙、鉛筆・色鉛筆	52.0×35.5
36	素描	峯田 敏郎	彫塑学生Nさん	1979	紙、鉛筆・色鉛筆	53.1×37.1
37	素描	峯田 敏郎	N第1防波堤	1979	紙、色鉛筆	26.6×37.3
38	素描	峯田 敏郎	十和田市市民憲章「光と風と」	1980	紙、鉛筆・色鉛筆	53.2×37.1
39	素描	峯田 敏郎	L防波堤	1980	紙、色鉛筆・水彩	40.5×31.7
40	素描	峯田 敏郎	旅の女ー階段ー	1984	紙、鉛筆・色鉛筆	40.6×32.0
41	素描	峯田 敏郎	記念撮影ー私の住んだ街ー	1990	紙、鉛筆・色鉛筆・水彩	53.2×37.1
42	素描	峯田 敏郎	ー	1997	紙、色鉛筆	53.3×37.4
43	素描	峯田 敏郎	記念撮影ー石のある風景ー	1999	紙、鉛筆・色鉛筆・水彩	66.5×47.5
44	素描	峯田 敏郎	ー	2002	紙、鉛筆・色鉛筆	43.4×31.0
45	素描	峯田 敏郎	記念撮影ー異人館・阿仁ー	2004	紙、色鉛筆	26.6×38.7
46	素描	峯田 敏郎	ー	2005	紙、色鉛筆・水彩	38.7×26.6
47	素描	峯田 敏郎	記念撮影ー壁ー	2006	紙、鉛筆・色鉛筆	43.4×31.0
48	素描	峯田 敏郎	ー	2008	和紙、鉛筆・水彩・水彩	48.5×66.5
49	素描	伊勢 正義	裸婦	ー	紙、鉛筆	38.6×25.8
50	素描	斎藤 寅彦	早春 蒔の臺（A）	2012	水彩、紙	39.2×54.7
51	素描	斎藤 寅彦	早春 蒔の臺（B）	2012	水彩、紙	54.7×39.3
52	素描	斎藤 寅彦	印旛の秋	2014	鉛筆・水彩、紙	54.6×39.2
53	素描	斎藤 寅彦	外房勝浦 鵜原漁港	2015	鉛筆・水彩、紙	38.0×69.0
54	素描	斎藤 寅彦	《時の跡ー繋ぐー》エスキース	2007	鉛筆、水彩・ジェッソ、紙	54.2×38.2
55	素描	斎藤 寅彦	《卵とグラス》エスキース	2012	鉛筆・水彩、紙	54.8×39.6
56	素描	斎藤 寅彦	蜂の巣	2012	鉛筆、紙	55.4×39.5
57	素描	斎藤 寅彦	オクラA	2013	鉛筆・水彩、紙	38.8×54.2
58	素描	斎藤 寅彦	オクラ	2013	鉛筆・水彩、紙	37.5×50.2
59	素描	斎藤 寅彦	《イソヒヨドリ》エスキースNo.1	2014	色鉛筆、紙	39.5×54.7
60	素描	斎藤 寅彦	《イソヒヨドリ》エスキースNo.2	2014	色鉛筆、紙	51.0×36.2
61	素描	斎藤 寅彦	白菜	2012	鉛筆、紙	38.7×54.0
62	素描	斎藤 寅彦	《時の跡2015》エスキース	2015	鉛筆・水彩、紙	54.7×39.6
63	素描	斎藤 寅彦	第80回旺玄展出品作のためのエスキース	2014	鉛筆・水彩、紙	63.5×39.0
64	素描	斎藤 寅彦	第80回旺玄展出品作のためのデッサン	2014	鉛筆・水彩、紙	54.0×38.8
65	素描	斎藤 寅彦	《時の跡2005》エスキース	2005	鉛筆・水彩、紙	75.3×50.8
66	素描	斎藤 寅彦	大作のためのデッサン（スクリーン）	2014	鉛筆、紙	36.2×51.2
67	素描	斎藤 寅彦	第74回旺玄展出品作のためのエスキース	2008	鉛筆・水彩・ジェッソ、紙	54.8×39.5
68	素描	斎藤 寅彦	第72回旺玄展出品作のためのエスキース	2006	鉛筆・水彩、紙	87.3×54.8

●図書資料

※平成27年度新収図書登録期間（平成27年3/16～平成28年3/15）

分 類		平成27年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	47	1,731
	日本美術	32	2,782
	西洋美術	2	685
	東洋、その他の美術	0	150
	秋田資料	4	573
	関係諸学	10	923
所蔵品図録、研究報告、年報		312	4,861
展覧会図録		282	8,160
美術雑誌他		294	7,085
計		983	26,950

●美術品保存・修復

No.	種 別	作家名	作品名	修復内容
-----	-----	-----	-----	------

※ 本年度は実施せず。

●重要文化財等指定

今年度新たに秋田県指定有形文化財に指定された作品

No.	指定年月日	名 称	備 考
6	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図	

(既指定)国指定重要文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆） 1 面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆） 3 幅	

(既指定)秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆） 1 幅	
17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1 冊	
19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆） 2 幅対	
21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1 幅	
22	平成17. 3. 22	平福穂庵 乳虎 1 幅	
23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6 曲 1 双	
24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1 幅	
25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1 幅	

燻 蒸

実施期日：2013年(平成25)1月17日（木）～1月19日（土）
燻蒸場所：2階収蔵庫、3階収蔵庫、地下1階一時保管室 総容積 3,589.9m³
実施業者：東化研株式会社
2014年(平成26)1月16日（木）～1月18日（土）
燻蒸場所：5階展示室 総容積 4,596.0m³
実施業者：関東港業株式会社
2015年(平成27)1月15日（木）～1月17日（土）
燻蒸場所：6階展示室 総容積 2,890.8m³
実施業者：東化研株式会社
2016年(平成28)1月14日（木）～1月19日（火）
燻蒸場所：2階収蔵庫、3階収蔵庫、地下1階一時保管室 総容積 3,589.9m³
実施業者：東化研株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫（2室） 1,281.8m³
3階収蔵庫（3室） 2,091.0m³
5階展示室（4室） 4,596.0m³
6階展示室（3室） 2,890.8m³
地下1階一時保管室 217.1m³

収蔵庫及び一時保管室に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、平成27年度は燻蒸を東化研株式会社に委託し上記6日間にわたり、実施した。酸化エチレン（C₂H₄O）と代替フロン（HFHC134a）の混合剤（商品名エキヒュームS）を気化器によりガス化投薬し、内部濃度を基準有効濃度200g/m³の基準として、48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行った。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名など
1	田宮 進	微風の海景	秋田県知事公舎	H21.8/5～H28.8/4	知事公舎に展示
2	伊藤弥太	1. 北国の街（その2）	秋田県立図書館	H22.3/1～H28.3/31	多目的ホールへの展示
3	金沢秀之助	2. 風景Ⅲ			
4	伊藤弥太	1. 田園の秋	秋田県知事公室秘書課	H22.4/1～H28.3/31	副知事室への展示
5		2. 北浦風景			
6	河村千代三	南風	秋田県知事公室秘書課	H24.2/24～H29.2/23	公舎玄関に展示
7	河村千代三	1. 春野	公立大学法人国際教養大学	H27.2/27～8/31	ホールに展示
8	奈良清四郎	2. 時計のある風景			
9	勝平得之	1.<秋田十二景>日吉神社隨身門	秋田県知事公室秘書課	H27.3/28～5/27	副知事室への展示
10		2.<秋田十二景>旭川暮色			
11	堀 文子	1. 廃墟	兵庫県立美術館	H27.4/6～6/20	「堀文子 一所不在・旅」展
12		2. 八丈島風景			
13	千葉禎助	1. 晴れた朝	平野政吉美術財団	H27.5/7～7/31	「田園にて～秋田の風景・子ども・女たち～」展
～	高橋萬年	2. 田			
41	勝平得之	3. [米作四題]耕土 他26点			
42	藤田嗣治	1. 裸婦立像 他4点	平野政吉美術財団	H27.5/7～10/15	「田園にて～秋田の風景・子ども・女たち～」展
～					
46					
47	勝平得之	1.<秋田風俗十態>鹿島流し	秋田県知事公室秘書課	H27.5/28～7/27	副知事室への展示
48		2.<農民風俗十二ヶ月>除草（6月）			
49	福田豊四郎	1. はなびわのかげ	名古屋市美術館	H27.7/4～10/7	「画家たちと戦争：彼らはいかにして生きぬいたのか」展
～		2. 早苗曇り 他8点			
58					
59	勝平得之	1.<秋田風俗十態>草市	秋田県知事公室秘書課	H27.7/28～9/27	副知事室への展示
60		2.<農民風俗十二ヶ月>雀追い（8月）			
61	平福百穂	1. 牛	平福記念美術館	H27.8/20～10/10	「平福百穂とアララギ歌人」展
～		2. 富貴之臺 他8点			
70					
71	伊藤博次	1. 埋	公立大学法人国際教養大学	H27.9/1～H28.2/28	ホールに展示
72	草薙 隆	2. 牛B			
73	松井如流	1. 臨西狭頰	練馬区立石神井公園 ふるさと文化館分室	H27.9/7～12/28	「書家・松井如流ーゆるぎない信念とともに」
～		2. 寒山詩 他10点			
84					
85	勝平得之	1.<秋田風俗十題>うまや	秋田県知事公室秘書課	H27.9/28～11/27	副知事室への展示
86		2.<農民風俗十二ヶ月>穂によ			
87	福田豊四郎	絵本原画「夕鶴」一式	美郷町学友館	H27.10/23～11/20	「福田豊四郎絵本原画展」
88	勝平得之	1.<秋田風俗十題>いろり	秋田県知事公室秘書課	H27.11/28～H28.1/27	副知事室への展示
89		2. 雪国の市場			
90	岡田健三	高原	秋田市立千秋美術館	H27.12/7～H28.3/11	「岡田健三記念館第Ⅲ期 岡田健三ー色彩・形・マチュール」
91	伊藤博次	1. 黄昏のメモリー	さががけホール	H27.12/15～12.23	「伊藤博次絵画展」
92		2. 空と海と砂と・・・Ⅴ			
93	藤田嗣治	1. ユキ	平野政吉美術財団	H28.1/11～3/31	「藤田嗣治の小宇宙～私のアトリエによくこそ～」
～		2. 女二人 他7点			
101					
102	勝平得之	1.<秋田風俗十態>彼岸花	秋田県知事公室秘書課	H28.1/28～3/27	副知事室への展示
103		2.<秋田風俗十態>笹飴			
104	勝平得之	1.<農民風俗十二ヶ月>堆肥（3月）	秋田県知事公室秘書課	H28.3/28～5/27	副知事室への展示
105		2.<秋田風俗十題>みづき			

調査・研究業績

河野元昭

講 座 美術館講座「名誉館長講座」－江戸時代の美術・後期－ 谷 文晁 秋田県立近代美術館、2015年5月23日

保泉 充

講 座 あきた県庁出前講座「あきたの美術―所蔵作品に見る秋田蘭画から近代まで―」 御野場新町三丁目町内会館、2015年6月20日

講 座 あきた県庁出前講座「あきたの美術―所蔵作品に見る秋田蘭画から近代まで―」 森吉コミュニティーセンター、2015年6月24日

講 座 明快！アートゼミ「彫刻家 峯田敏郎」 秋田県生涯学習センター、2015年9月11日

作品解説 「ギャラリーと〜く 峯田敏郎彫刻展 ㊤」『秋田魁新報』、2015年1月6日

論 考 「彫刻家・峯田敏郎一人と作品―」『秋田美術No. 52』（紀要） 秋田県立近代美術館、2015年、pp. 17-28

資料作成 「峯田敏郎年譜」『秋田美術No. 52』（紀要） 秋田県立近代美術館、2015年、pp. 29-33

西野美佳

資料作成 「キンビ・セカンドスクールプログラム」 秋田県立近代美術館、2015年

実技講座 きっずあーと「どろどろアート」 2015年6月7日

発 表 平成27年度 北海道・北東北美術教育研究会「美術館を活用した美術教育の充実」

発 表 平成27年度 秋田県生涯学習・社会教育関係職員会議 第2分科会「最近の新しいプログラムの開発について」

論 考 「美術館と学校との連携Ⅱ－美術館の効果的な利用に向けて―」『秋田美術 No. 52』（紀要） 秋田県立近代美術館、2016年3月20日 pp. 3-16

木村雅洋

実技講座 岩合光昭写真展ワークショップ1「大画面に描こう！」 2015年5月3日

実技講座 みんなの教室「木でつくろう！森の動物たち」 2015年8月2日

資料作成 平成27年度版・近代美術館ホームページ リニューアル 2015年9月1日、2016年3月31日

作品解説 第2期ネットワーク事業「秋田の工芸 その技と美」ギャラリートーク 秋田県立図書館、2016年1月16日

藤井正輝

作品解説 「ギャラリーと〜く 岩合光昭写真展ネコライオン」『秋田魁新報』 2015年5月20日

作品解説 「ギャラリーと〜く 峯田敏郎彫刻展 ㊤」『秋田魁新報』 2016年1月13日

実技講座 岩合光昭写真展ワークショップ2「フェルト毛玉マスコットを作ろう！」 2015年5月17日、6月13日

実技講座 みんなの教室「スタンプはながで楽しもう！」 2015年7月12日

奈良 香

講 座 秋田の歩き方入門「秋田の美術」 秋田県立大学、2015年5月22日

他館ギャラリートーク 早苗饗トーク「高橋萬年について」 秋田県立美術館、2015年6月14日

講 座 明快！Artゼミ「滝平二郎 作品の魅力ー木版画・きりえ・絵本原画ー」 秋田県生涯学習センター、2015年7月3日

作品解説 「ギャラリーと〜く 滝平二郎の世界展 ㊤」『秋田魁新報』 2015年9月30日

作品解説 「秋田県立近代美術館特別展 滝平二郎の世界展」『河北新報』 2015年10月15日

実技講座 「きりえ」ワークショップ 2015年11月1日

図録コラム 「滝平二郎と秋田」「滝平二郎の絵本」『滝平二郎の世界展図録』 キュレイターズ、2015年、p. 24 p. 60

鈴木 京

他館ギャラリートーク 早苗饗トーク「千葉禎介写真について」 秋田県立美術館、2015年6月14日

講 座 明快！Artゼミ「所蔵作品にみる中国」 秋田県生涯学習センター、2015年8月7日

図録コラム 「滝平作品の原点、木版画」『滝平二郎の世界展図録』 キュレイターズ、2015年、p. 18

作品解説 「ギャラリーと〜く 滝平二郎の世界展 ㊤」『秋田魁新報』 2015年10月7日

作品解説 「ギャラリーと〜く 食〜自然からの恵み〜」『秋田魁新報』 2016年3月16日

論 考 「平福穂庵筆《蘭亭曲水図》襖について」『秋田美術 No. 52』（紀要） 秋田県立近代美術館、2016年3月20日 pp. 34-43

鈴木政憲（秋田県立近代美術館長期研修員）
資料作成 「2015年県内美術展開催一覧（1～12月）」『秋田美術No. 52』（紀要）秋田県立近代美術館、
2016年3月20日、pp44-52

渡辺靖広（秋田県立近代美術館長期研修員）
資料作成 「2015年県内美術展開催一覧（1～12月）」『秋田美術No. 52』（紀要）秋田県立近代美術館、
2016年3月20日、pp44-52

刊行物

◆2014年度 秋田県立近代美術館年報 2015年4月発行 A4判 68頁

◆キンビセカンドスクールプログラム 2015年4月発行 A4判 4頁

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 70 2015年9月発行 A4判 4頁

展覧会レポート：岩合光昭写真展「ネコライオン」、魔法の美術館
2015コレクション展 第1期「花はどこにある」、2015コレクション展 第2期「所蔵品にみる中国」
トピックス：滝平二郎の世界展
レポート：『ふれんどリーギャラリーの学校による活用』モデル事業
「美術の時間」展 vol.4 ～生徒の学びと授業のプロセス～
インフォメーション：2015年度・下半期の美術館事業

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 71 2016年3月発行 A4判 4頁

展覧会レポート：滝平二郎の世界展、峯田敏郎彫刻展、食 ～自然からの恵み～
2015コレクション展 第3期「横手・湯沢の洋画家たち」、
Artが学校にやってきたin小坂小学校・中学校 上小阿仁小中学校
トピックス：セカンドスクール利用状況
レポート：先生のための美術館講座「美術館 まるごと活用術！」
インフォメーション：2016年度・上半期の美術館事業

※秋田県立近代美術館ニュース『ARK（アーク）』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。（平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した）「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆秋田美術 第52号 2016年3月発行 A4 52頁

美術館と学校との連携Ⅱ ―美術館の効果的な利用に向けて―	西野美佳
彫刻家・峯田敏郎 ―人と作品― 峯田敏郎年譜	保泉 充
平福穂庵《蘭亭曲水図》襖絵について	鈴木 京
2015年県内美術展開催一覧	担当：鈴木政憲・渡辺靖広

※秋田美術

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆平成28年度行事案内リーフレット 2016年3月発行 A4 2頁

◆平成28年度キンビ・創作体験プログラム 2016年3月発行 A4 2頁

入館状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数（人）	4,857	13,155	9,323	20,029	46,501	16,605	9,509	8,644	3,724	3,912	2,427	3,090	141,776

平成27年度 月別入館者数

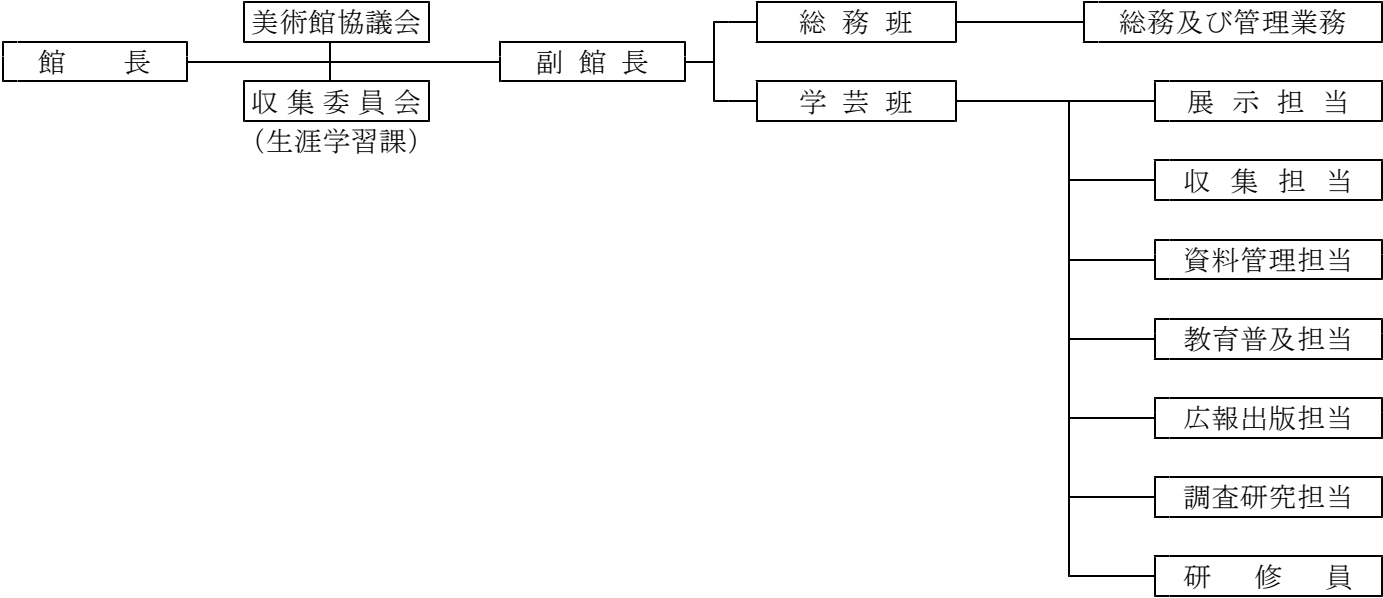
事業別 区分		入館者	特別展入場者					企画展入場者			その他 ※(4)
			岩合光昭写真展 「ネコライオン」	魔法の美術館	滝平二郎の 世界展	峯田敏郎 彫刻展	計	日々の写生 画家たちの 生きた時代 ※(1)2/7～	食～自然か らの恵み～ ※(2)～4/17	計	計
開催期間		4/1(水)～ 3/31(木)	4/25(日)～ 7/5(日)	7/11(土)～ 9/13(日)	9/19(土)～ 11/23(月・祝)	11/29(日)～ 2/7(日)		4/1(木)～ 4/19(日)	2/13(土)～ 3/31(木)		
日数（日）※(3)		353	72	65	66	58	261	19	48	67	25
利用者数（人）		141,776	21,059	61,458	12,395	2,244	97,156	1,722	4,611	6,333	38,287
一日平均（人）		402	292	946	188	39		91	96		
有 料	個 人	一般・学生	13,337	47,520	7,975	902	69,734	－	－	0	0
		シルバー	－	－	－	146	146	－	－	0	0
		身障 一般・学生	515	1,022	391	－	1,928	－	－	0	0
	団 体	一般・学生	2,126	1,026	294	2	3,448	－	－	0	0
		合 計	15,978	49,568	8,660	1,050	75,256	0	0	0	0

利用者数一覧表

- ※(1) 「日々の写生 画家たちの生きた時代」 は、平成27年2月7日～平成27年4月19日まで開催。
- ※(2) 「食～自然からの恵み～」 は、平成28年2月13日～平成28年4月17日まで開催。
- ※(3) 平成27年12月29日～31日、平成28年1月12日～21日は年末及び館内メンテナンスのため休館。
- ※(4) その他利用者数38,287人には特別展期間中入館者24,751人、ネットワーク事業(県立図書館にて)の観覧者6,217人、小坂小・中学校及び上小阿仁小中学校出前美術館の観覧者1,090人、能代エナジAMPARK 出前美術展の観覧者4,521人、常設展の1,708人等が含まれる。

組 織

組織図



職 員

館長事務取扱 (本務 生涯学習課長)	沢屋隆世	事務補助職員	本間恵里子
副館長	三浦直	学芸補助職員	村田詩織
副主幹(兼)班長	古村光晴		児玉友美
副主幹	柴田卓也		高橋亜紀子
主任	阿部美紀		西村真由子
主任学芸主事(兼)班長	檜尾康子		岡田聡子
主任学芸主事	保泉充佳		樋渡初美香
	西野美佳		柴田千泰
学芸主事	木村雅洋		藤田園
	藤井正輝		菊地佳奈
	奈良香		杏澤史恵
	鈴木京		佐藤美佳
技能主任	伊藤正信		藤沢香奈子
研修員	鈴木憲広		(柴田生美)
	渡辺靖広		(川越菜々子)

美術館協議会委員

会長	石川喜美子	元社会教育アドバイザー
副会長	藤原正樹	横手市まちづくり推進部生涯学習課長
	浅野壽里	アート教室「森のおと」主宰
	泉正明	会社員
	佐々木久隆	モダンアート協会会員
	高橋都々子	秋田ふるさと村事業部事業推進課長
	永沢弘	横手市立横手南小学校長
	福岡真貴子	公募・団体職員(横手市社会福祉協議会)
	涌井良介	日本放送協会秋田放送局長
	渡部永和	秋田魁新報社文化部長

建築・設備概要

建築概要

建設地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢62-46
敷地面積／164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建築面積／2,947.32㎡
延床面積／11,166.50㎡
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地下1階 地上7階 PH1階
設計／株式会社 山下設計東北支社
監理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調／ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事(株)
受変電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電／千代田電気工業(株)
昇降機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備

受変電設備／受電電圧3φ 3W 6.6KV 50Hz
設備容量1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備／中央監視装置：機能分散型D D C方式による集中監視制御
照明設備／蛍光管主体
展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・T V 共聴研修室A V 装置・ハイビジョンギャラリー4系統(110インチ背面投射型1台・60インチ背面投射型3台)ハイビジョンデータベースシステム1系統(32インチC R T 1台)
防犯設備／防犯センサー・I T V 装置
防災設備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備

熱源設備／吸収式冷温水発生機2000RT×2台 L P G
焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備／ユニット型空調機(還風機組込型)×4台
ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台
ファンコイルユニット天井カセット型×105台
水冷式パッケージ型空調機×6台
空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備／第1種及び第3種換気方式
排煙設備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
薫蒸設備／常圧手動式ユニット型20㎡

●給排水衛生設備

給水設備／上水引込口径75mm 重力給水方式
受水槽24m³ 高置水槽6m³
給湯設備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入
ガス設備／ふるさと村施設全体の集中L P G 装置より供給
主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1分
-----------	---------	-------	----

主な設備

5階展示室(4室) 983.10㎡	収蔵庫(5室)	852.9㎡
(1)260.28㎡	会議室	69.4㎡
(2)293.76㎡	実習室・準備室	135.0㎡
(3)237.13㎡	図書資料室	160.5㎡
(4)191.93㎡	調査研究室	45.5㎡
6階展示室(3室) 786.90㎡	ハイビジョンギャラリー	241.9㎡
(1)255.96㎡	研修室	226.7㎡
(2)293.76㎡	キッズ・ルーム	128.9㎡
(3)237.13㎡		

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総 則
（設置）

第1条
秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。
（業務）
第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施 設	業 務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館
（近代美術館）

第4条
秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）
第5条
近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条
近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2 協議会は、委員10人以内で組織する。
3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。
一 学校教育及び社会教育の関係者
二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
三 学識経験のある者
四 近代美術館の利用者
4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（入場料等の徴収）

第7条
近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。
2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。
3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場に当たっては、これを発行するときに徴収する。
（入場料等の減免）

第8条
知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。
（入場料等の不還付）

第9条
既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。
（規則への委任）

第10条
この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則
この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1
特別展示室の入場料（第7条関係）

区 分	金 額（一人につき）
普通料金	820円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	740円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

第 1 条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第 7 条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第 8 章の 2 近代美術館

（開館時間）

第37条の 2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前 9 時30分から午後 5 時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第37条の 3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1 月 1 日及び 1 月 2 日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

第37条の 4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第37条の5

第 3 条第 3 項及び第 4 項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第 6 条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第 7 条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例(平成 5 年秋田県条例第45号)第 8 条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第37条の 6

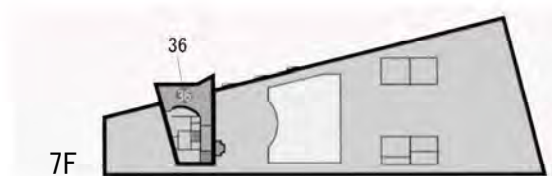
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

附則

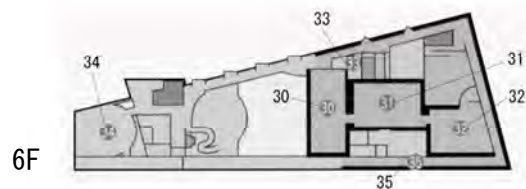
この規則は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどリーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	21	調査・研究室	Study Room
	20	館長室	Director's Room
	19	応接室	Lounge
	18	図書・資料室	Library
	17	事務室	Museum Office
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	薫蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall

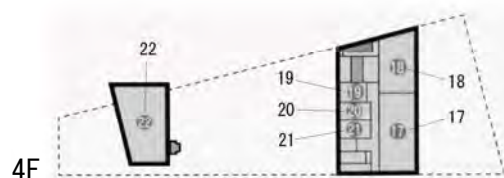


7F

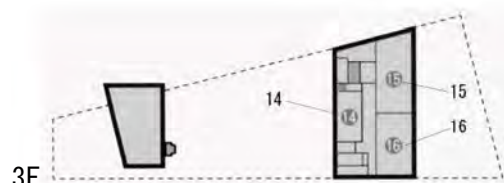


6F

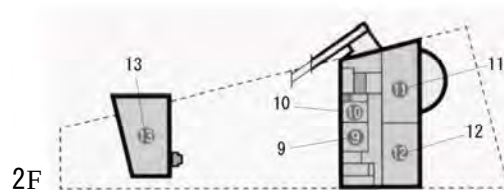
5F



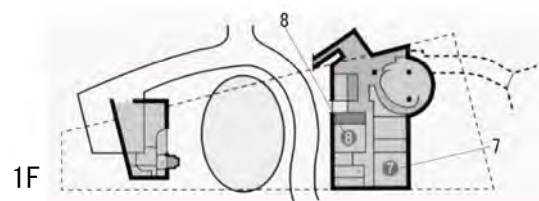
4F



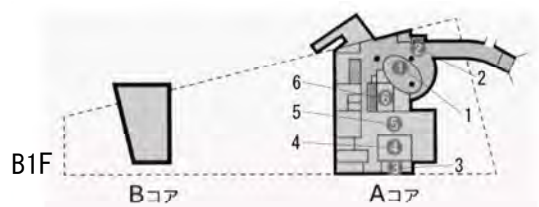
3F



2F



1F



B1F

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆休館日 (2015年度)

2015年12月29日～12月31日(年末休館)
2016年 1月12日～ 1月21日(メンテナンス休館)

◆料 金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 岩合光昭写真展 ネコライオン 団体(20名以上)・前売り料金	900円 750円	500円 350円	無料	無料	半額
特別展 魔法の美術館 団体(20名以上)・前売り料金	800円 700円	600円 500円	400円 300円	無料	半額
特別展 滝平二郎の世界展 団体(20名以上)・前売り料金	1,000円 800円	無料	無料	無料	半額
特別展 峯田敏郎彫刻展 団体(20名以上)・シルバー(70歳以上)料金	500円 450円	無料	無料	無料	無料
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30 a.m. ～5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

◆Closed (Fiscal year 2015)

- ・Dec. 29-31, 2015 Year-end Holidays
- ・Jan. 12-21, 2016 Maintenance Week

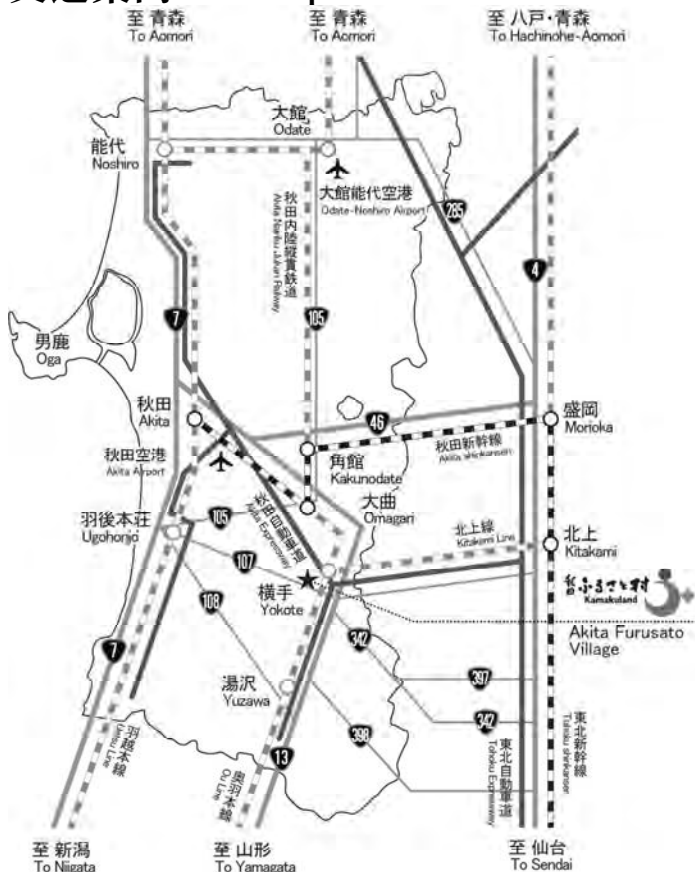
◆Admission Fee

	Adult	senior high school & college student	elementary school & junior high school student	pre-school child	handicapped person
Special Exhibition	¥900	¥500	¥0	¥0	¥450
Mitsuaki Iwago ※	¥750	¥350			
Special Exhibition	¥800	¥600	¥400	¥0	¥400
Art In Wonderland ※	¥700	¥500	¥300		
Special Exhibition	¥1,000	¥0	¥0	¥0	¥500
Jiro Takidaira ※	¥800				
Special Exhibition	¥500	¥0	¥0	¥0	¥0
Toshiro Mineta *	¥450				
ermanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

※ Group Discount (20 persons and more) & an advance ticket.

* Group Discount (20 persons and more) & Senior discount (persons of 70 and above).

交通案内 Transportation



- ・(JRとバスで)
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- ・(お車で)
秋田自動車道 横手インターより3分
- ・(高速バスで)
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車 徒歩10分
- ・(By JR train and bus)
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ・(By car)
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ・(By Express bus, Yuzawa-Akita Line)
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2016年6月発行

編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46

TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858

URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html

E-mail: akitamma@rnac.ne.jp